

平成30年度

一般入試学生募集要項

岐阜大学

- * 教育学部
- * 地域科学部
- * 医学部
- * 工学部
- * 応用生物科学部

【重要】

(出願期間) 平成30年1月22日(月)～1月31日(水)17時必着

出願は郵送に限ります。

出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、1月29日(月)以前(1/29を含む)の発信局(日本国内)消印のある簡易書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

Q & A

よくある質問を挙げました。参考にしてください。

入学志願票について

Q：「入学志願票」をボールペンで記入してしまったのですが、どうしたらいいですか。

A：その上から鉛筆でなぞってください。ただし、氏名、住所、連絡先については鉛筆でなぞる必要はありません。（→P.19, 39）

成績請求票の紛失について

Q：大学入試センター試験の成績請求票を紛失したのですが、どうしたらいいですか。

A：大学入試センター発行の「受験案内」に基づき、至急、大学入試センターへ再発行の手続きをとってください。

出願書類受理の問い合わせ

Q：出願書類が岐阜大学にちゃんと届いたか、心配なのですが。

A：出願書類が到着し、整理が済み次第順次、出願書類到着確認書（はがき）を送付します。電話による確認には応じません。（→P.17, 37）

なお、書留の受領証に記載されている引受番号を用いて、日本郵便（株）の郵便追跡システムによる配達状況の確認ができます（簡易書留は引き受けと配達のみ）。詳しくは日本郵便（株）のホームページをご覧ください。

受験票の送付

Q：受験票がまだ届かないのですが。

A：前期日程は2月13日頃発送予定ですので、2月16日になっても届かない場合は、出願した学部の学務係に電話で問い合わせてください。また、後期日程は2月15日頃発送予定ですので、2月20日になっても届かない場合は、出願した学部の学務係に問い合わせてください。（→裏表紙）

Q：受験票の様式がないのですが。

A：受験票は本学で作成します。よって事前に提出する様式はありません。（→P.15, 35）

〔留意事項〕

入学志願票は、必ず志願者本人が記入してください。

問い合わせは、原則として志願者本人からするようにしてください。

「入試過去問題活用宣言」への参加

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しており、アドミッション・ポリシーを実現するため必要と認める範囲で「宣言参加大学」の入試過去問題あるいは類似問題を使用して出題することがあります。ただし、必ず使用するとは限りません。

詳細は、「<http://www.nyushikakomon.jp>」にて公表していますが、不明な点等がありましたら、本学入試課へお問い合わせください。

目 次

1	入学者選抜関係日程	2
2	アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）	3
3	募集人員	6
4	出願資格	8
5	岐阜大学入学資格審査	9
6	障害等のある者の出願にあたっての事前相談	11
7	前期日程〔教育学部，地域科学部，医学部，工学部，応用生物科学部〕	13
	① 募集人員	13
	② 2段階選抜の実施	14
	③ 個別学力検査等の期日及び試験場	14
	④ 出願手続	15
	⑤ 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	24
	⑥ 個別学力検査等の実施教科・科目等	26
	⑦ 配点	30
	⑧ 受験番号（前期日程）	32
8	後期日程〔教育学部，地域科学部，医学部，工学部，応用生物科学部〕	33
	① 募集人員	33
	② 2段階選抜の実施	34
	③ 個別学力検査等の期日及び試験場	34
	④ 出願手続	35
	⑤ 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目	44
	⑥ 個別学力検査等の実施教科・科目等	46
	⑦ 配点	50
	⑧ 受験番号（後期日程）	52
9	合格者発表	53
10	入学手続（概要）	54
11	入試情報の開示	55
12	そ の 他	59
	受験に関する照会先	59
	検定料返還に関する留意事項	59
	平成 28 年熊本地震により被災した入学志願者の検定料免除について	60
	試験場への案内	60
	岐阜大学建物配置図	62
	受験者等控え室について	63
	受験される方へ（留意事項）の HP 掲載について	63
13	追加合格	63
14	欠員補充第 2 次募集	63

添付書類

前期日程 出願書類一式

後期日程 出願書類一式

1 入学者選抜関係日程

大学入試センター試験

試験日：平成30年1月13日（土）・1月14日（日）

一 般 入 試（個別学力検査等）

前 期 日 程

後 期 日 程

出願期間：平成30年1月22日（月）～1月31日（水）17時必着

※ 出願は郵送（簡易書留速達郵便）のみ受理（持参は受け付けません）

※ 出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、1月29日（月）以前（1/29を含む）の消印のある簡易書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

第1段階選抜の結果発表
（医学部医学科のみ）
2月7日（水）第1段階選抜の結果発表
（医学部医学科のみ）
2月7日（水）

個別学力検査等

2月25日（日）、26日（月）

※ 2月26日（月）は、教育学部実技検査、医学部医学科面接

個別学力検査等

3月12日（月）、13日（火）

※ 3月13日（火）は、医学部医学科面接

合格者発表

3月6日（火）12時

合格者発表

3月21日（水・祝）10時

入学手続期限

3月15日（木）

入学手続期限

3月27日（火）

追加合格（入学手続完了者が入学定員に満たないとき）

3月28日（水）～3月30日（金）

合格通知書の交付・入学手続

入学式：4月7日（土）

緊急の事態（地震による交通障害等）により、やむを得ず入学試験の実施を延期、変更する場合には、岐阜大学のホームページにてお知らせします。また、情報の更新にはご注意ください。

2 アドミッション・ポリシー（入学者受入方針）

岐阜大学

岐阜大学は、自然豊かな1つのキャンパスで、幅広い分野において「学び、究め、貢献する」人材を育てます。大学での学修に必要な基礎知識と技能を備えており、次のような人の入学を期待しています。

1. 知的好奇心にあふれ、自ら進んで学ぼうとする人
2. さまざまな見方や論理的な考え方ができる人
3. 相手の意見を聴き、自分の考えを伝えることができる人
4. 積極的に課題を探求しようとする人
5. これからの地域や国際社会で活躍したい人

教育学部

〈基本理念〉

岐阜大学教育学部は、岐阜県を中心として活躍する、優れた専門的知見と指導能力をもつ教員、ならびに社会の多様な学習要求に応える教育専門職及び教育関係者の養成を目的とする学部です。本学部は、教育を通じて、平和で豊かな世界の実現に貢献する人材を育成します。

〈求める学生像〉

〔知識・技能〕

大学での学修に必要な教科・科目の基礎知識、実技系においてはその基礎的实践能力を有する人

〔思考力・判断力〕

知識・技能を批判的に継承しつつ、多様かつ創造的な思考・判断ができる人

〔表現力〕

子どもや保護者をはじめ社会の様々な人の声に耳を傾け、自分の考えを適切に表現できる能力をもつ人

〔主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〕

大学ならびに教育実践の場における様々な学修を通じて、自ら進んで他者と協働し、教職に対するよりよい理解を得ようとする人

〔その他の教育学部が求める要素〕

- ・豊かな人間性の上に、教育に対する情熱と責任感を有する人
- ・岐阜県を中心とした教育現場で活躍できる人

選抜方法及び入試区分		学力の3要素等	知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の教育学部が求める要素
選抜方法ごとの見る力	前期日程	センター試験	◎	○			
		個別学力試験	○	◎	○		
		実技検査（音・美・体）	◎		◎		
		面接（美術のみ）	◎		◎	◎	
	後期日程	センター試験	◎	○			
		個別学力試験（音・体を除く）	○	◎	○		
		実技検査（音・体）	◎		◎		
	推薦Ⅱ	センター試験	◎	○			
		推薦書	○	○	○	○	○
		志望理由書					◎
面接		◎	○	◎	◎		
調査書		○					
		作品（美）	◎	◎			
		運動歴調書（体）	◎				

◎は、より重点的に見る項目を示しています。

地域科学部

〈教育理念・目標〉

地域科学部は、「地域」がキーワードとなるさまざまな社会的及び文化的課題について、人文科学、社会科学ならびに自然科学の基礎学力をもとにして、総合的に考究する能力を育てることを目標としています。これにより発展的な地域創成や、豊かな社会形成に貢献でき、リーダーシップを発揮できる人の育成を目指します。

〈求める学生像〉

このような理念・目標のもと本学部の学生には、主に次のような資質を持っていることを望みます。

1. 人間社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。
2. 物事をさまざまな視点から総合的かつ論理的に考えることができる。
3. 自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。
4. 他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現する能力を持っている。
5. 幅広い学問分野を学びながら、自己の専門分野を次第に決定してゆきたいという意欲を持っている。

〈学力の3要素について〉

本学部は、学力の3要素のどの要素も重視しています。知識・技能、思考力・判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度、その他の要素を相互に関連付け、相互に補い合うように学んでいくことを期待しています。

〔知識・技能〕

人間・社会の営みや自然との関わりに基礎的な知識、技能を持っている。

〔思考力・判断力〕

さまざまな視点から総合的かつ論理的に物事を考えることができる。

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

〔表現力〕

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

〔主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〕

自ら課題を見つけ、その課題に対して積極的に取り組もうとする意欲を持っている。

他者の考えをよく理解し、自己の意見を表現できる能力を持っている。

〔その他の要素〕

人間・社会の営みや自然との関わりに深い関心を持っている。

学力の3要素等		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
選抜方法	入試区分					
センター試験	一般(前期・後期), 推薦Ⅱ	○	○			
英語または数学	一般(前期)	○	○	○	○	○
小論文	一般(前期・後期), 推薦Ⅰ, 社会人, 帰国生	○	○	○	○	○
面接	推薦Ⅰ, 推薦Ⅱ, 社会人, 帰国生	○	○	○	○	○

医学部 医学科

〔教育理念〕

岐阜大学医学部医学科は、人間、自然、社会に対する豊かな感性と洞察力を持って教育・研究・臨床に邁進しています。その理念の下に医学の基礎と高度な専門知識・技能を有し、世界と地域の医療・医学の発展に貢献できる優れた医療人・医学研究者を育成することを最大の使命としています。

〔求める学生像〕

1. 広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人
2. 自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人
3. 協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人
4. 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人
5. 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人
6. 責任感と倫理感が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

〔学力の3要素について〕

〔知識・技能〕

広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人

〔思考力・判断力〕

自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人

〔表現力〕

協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人

〔主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〕

- (a) 向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人
- (b) 地域や国際社会で貢献する意志を持つ人
- (c) 責任感と倫理観が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

選抜方法及び入試区分	学力の3要素			主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
	知識・技能	思考力・判断力	表現力	(a)	(b)	(c)
センター試験	一般, 推薦Ⅱ	○	○			
個別学力試験	一般	○	○			
面接	一般, 推薦Ⅱ		○	○	○	○
小論文	推薦Ⅱ	○	○	○		○
調査書等	一般, 推薦Ⅱ	○		○	○	○

医学部 看護学科

〔教育理念・目標〕

看護学科は、看護学をはじめ保健・医療・福祉の各分野に貢献できる人間性豊かで倫理観に富む資質の高い看護の専門職を養成するとともに、看護学の教育研究の推進も目指します。

少子高齢社会の到来や疾病構造の変化など、保健・医療・福祉分野が担う役割は複雑化、高度化しています。さらに活躍の場は医療施設にとどまらず、地域へと拡大しています。看護学科では、保健・医療・福祉に関する深い関心を持った学生を求めています。以下のような資質が必要となります。

〔求める学生像〕

- ・看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人
- ・身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人
- ・他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人
- ・看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人
- ・他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人
- ・自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

〔学力の3要素について〕

〔知識・技能〕

看護学の修得に必要なかつ十分な基礎的な知識・技能及び教養を持っている人

〔思考力・判断力〕

身につけている知識・教養をもとに多角的に物事をとらえ、論理的に思考し、判断ができる能力を持っている人

〔表現力〕

他者の意見や気持ちを理解できるように努め、自己の考えを的確に表現し、伝える能力を持っている人

〔主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度〕

- ・看護をはじめ様々な学問分野に興味・関心を持ち、真実を知ろうという科学的探求心に富み、自己学習意欲が旺盛である人
- ・他者の意見を傾聴し、相手を尊重しながら互いに協力して学ぶことができる人

[その他の要素]

自己の心身の健康に留意し行動できる力を持っている人

選抜方法及び入試区分		学力の3要素等				
		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	その他の要素
センター試験	一般（前期・後期）	○	○			
個別学力試験	一般（前期）	○	○	○		
小論文	一般（後期）、推薦Ⅰ、社会人		○	○	○	○
面接	一般（後期）、推薦Ⅰ、社会人		○	○	○	○
調査書	推薦Ⅰ	○			○	○

工学部

〈教育目的〉

工学部では、社会、自然、文化等に対する深い見識、優れた感性及び健全な心を養います。同時に、専門特化型から幅広い総合型まで、多様な個性に合った能力を育みます。これにより、人間性豊かで創造性に富んだ技術者の育成を目指します。

〈求める学生像〉

本学部では、21世紀の社会を支える先端的な工業技術に対する深い関心があり、以下のような資質を持った学生を求めています。

1. 先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人
2. 理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、新しい発想ができる人
3. 相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人
4. 知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人
5. 国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

多様な入試を実施し、個性の異なる学生を受け入れて積極的に活性化を図っています。

〈学力の3要素について〉

[知識・技能]

先端的な工学の理解に必要な数学・理科に関する基礎的学力を十分に備えている人

[思考力・判断力]

理解力に富み、論理的な思考ができるだけでなく、柔軟性があり、創造性豊かな発想ができる人

[表現力]

相手の意見に耳を傾け、自分が伝えたいことを表現できる人

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

知的好奇心にあふれ、自主的な勉学意欲に富む人

[その他の要素]

国際社会で活躍するためのコミュニケーション能力を備えている人

選抜方法及び入試区分		学力の3要素等				
		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性	その他の要素
センター試験	一般、推薦Ⅱ	○	○			
個別学力試験	一般	○	○	○		
面接	推薦Ⅱ		○	○	○	○
調査書	推薦Ⅱ	○	○		○	

応用生物科学部

〈求める学生像〉

応用生物科学部は、応用生物科学の学理を修得し、生物産業の発展や持続可能な生物生産、人間を含む生態系の保全およびヒトと動物との共生などの分野で活用することによって、より良い社会を実現したいと考える学生を求めています。

このためには、大学での学修に必要な基礎知識や技能、思考力、判断力、表現力、主体性、多様性、協同性など資質が必要です。応用生物科学部では、これらの資質を多様な入試制度で判定し、応用生命科学課程、生産環境科学課程及び共同獣医学科の具体的な目標の達成のために強い意欲を持って学習に励む人材を受け入れます。

〈学力の3要素について〉

[知識・技能]

応用生物科学の学理の理解に必要な基礎能力

[思考力・判断力]

科学的な思考、科学的な根拠に基づいた適切な判断

[表現力]

相手の意見に耳を傾け、自分の考えを的確に伝える

[主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度]

課題に対する知的好奇心、独創的な取り組み、他者との協働

選抜方法及び入試区分		学力の3要素				
		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性・多様性・協働性	その他の要素
センター試験	一般、推薦Ⅱ	◎	○			
個別学力試験	一般	○	◎	○		
面接	推薦Ⅰ、Ⅱ		○	◎	◎	◎
小論文	推薦Ⅰ、Ⅱ	○	◎	◎		○
調査書	推薦Ⅰ、Ⅱ	○				○

◎は特に重視している項目を示しています。

3 募集人員

3

募集人員

学部	学科等名		入学定員	募集人員					
				一般入試		特別入試			
				前期日程	後期日程	推薦入学I	推薦入学II	社会人	帰国生
教育学部	学校教育 教員養成課程	国語教育	24	19	5				
		※1 社会科教育	36	28		8			
		数学教育	24	16	8				
		※1 理科教育	36	20	16				
		音楽教育	12	8	4				
		美術教育	10	6		4			
		保健体育	16	7	7	2			
		技術教育	10	6	4				
		家政教育	12	8	4				
		英語教育	24	14	10				
	学校教育	心理学コース	15	10	5				
		教職基礎コース	11	7	4				
	小計		230	149	67		14		
	特別支援学校教員養成課程		20	15	5				
計		250	164	72		14			
地域科学部	地域政策学科		(50)	60	21	6	10	2	1
	地域文化学科		(50)						
	計 ※2		100	60	21	6	10	2	1
医学部	医学科		※3 110	32	35		※3 43		
	看護学科		80	47	20	10		3	
	計		190	79	55	10	43	3	
工学部	社会基盤 工学科	環境コース	60	13	14		ア) 2	イ) 2	
		防災コース		13	14		2		
	機械工学科	機械コース	130	37	37		5	2	
		知能機械コース		23	23		3		
	化学・生命 工学科	物質化学コース	150	39	39		6	2	
		生命化学コース		30	30		4		
	電気電子・情報 工学科	電気電子コース	170	34	35		5	3	
		情報コース		32	32		5		
応用物理コース		11		11		2			
計		510	232	235		※4 43			
応用生物科学部	応用生命科学課程		80	54	10	6	10		
	生産環境科学課程		80	50	10	10	10		
	共同獣医学科		30	26			4		
	計		190	130	20	※5 16	24		
合計		1,240	665	403	32	134	5	1	

(注)

- この表中、推薦入学Ⅰは大学入試センター試験を課さない推薦入試、推薦入学Ⅱは大学入試センター試験を課す推薦入試を示します。

【教育学部】

- ※1 a 教育学部の社会科教育講座及び理科教育講座の2講座には、それぞれ次の専攻があります。
 - ① 社会科教育講座：「史学」、「地理学」及び「現代社会」の3専攻
 - ② 理科教育講座：「物理学」、「化学」、「生物学」及び「地学」の4専攻
- b 教育学部の一般入試（前期日程・後期日程）における上記aの2講座の合格者については、合格者発表時において、志願者の専攻の志望順位及び試験成績を考慮し、各講座の募集人員をそれぞれ1/4（現代社会専攻は1/2）を目安に、各専攻に割り振ります。（社会科教育講座については、推薦入学の合格者を考慮）
- c 教育学部の推薦入学Ⅱ特別入試では、社会科教育講座については史学専攻、地理学専攻は各2人、現代社会専攻は4人を募集します。

【地域科学部】

- ※2 地域科学部の入試は学科の区別をせず学部単位で行います。
所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。

【医学部】

- ※3 医学部医学科の推薦入学Ⅱ特別入試の募集人員43人には、地域枠推薦28人を含みます。
なお、地域枠推薦に係る定員は設置認可申請中の人数であり、変更があり得ます。詳細については、11月末頃までに本学ホームページでお知らせします。

【工学部】

- a 工学部の一般入試では、入学定員を学科ごとに定めていますが、学生募集はコースごとに行います。
- b 一般入試に出願する際に、志望することのできる学科は1つのみであり、その学科の中で複数コースを選択することが可能です。（コース選択の詳細についてはP.23またはP.43をご覧ください。）
- ※4 工学部の推薦入学Ⅱ特別入試の募集人員は、「選抜の対象」により異なります。
選抜の対象 ア) 高等学校等の普通科又は理数に関する学科を卒業見込みの者：募集人員はコースごと
イ) 高等学校等の工業に関する学科を卒業見込みの者：募集人員は学科ごと

【応用生物科学部】

- ※5 応用生物科学部の推薦入学Ⅰ特別入試について、応用生命科学課程の募集人員6人のうち3人及び生産環境科学課程の募集人員10人のうち5人は、スーパーサイエンスハイスクール・理数科枠の募集人員です。
- 次の入試で欠員が生じた場合は、それぞれ指定の入試でその欠員を補充します。
 - a 教育学部の推薦入学Ⅱ特別入試の欠員→同学部の前期日程で補充
 - b 地域科学部の推薦入学Ⅰ及びⅡ並びに社会人及び帰国生特別入試の欠員→同学部の特別入試及び前期日程で補充
 - c 医学部医学科の推薦入学Ⅱ特別入試の欠員→同学科の前期日程で補充
 - d 医学部看護学科の推薦入学Ⅰ及び社会人特別入試の欠員→同学科の前期日程で補充
 - e 工学部の推薦入学Ⅱ特別入試の欠員→同学部の各コース別に前期日程で補充
 - f 応用生物科学部の推薦入学Ⅰ及びⅡ特別入試の欠員→同学部の各課程・学科別に前期日程で補充
- この表のほか、私費外国人留学生特別入試を実施します。（ただし、医学部看護学科及び応用生物科学部共同獣医学科を除く。）

4 出願資格

4

出願資格

本学に出願することができる者は、次のいずれかに該当し、かつ、志望する学部・学科・課程等が指定する平成30年度大学入試センター試験の教科・科目を受験した者です。

- (1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び平成30年3月までに卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び平成30年3月までに修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び平成30年3月までにこれに該当する見込みの者

(注)

上記の(3)に該当する者は、次のとおりです。

- ア 外国において、学校教育における12年の課程を修了した者（平成30年3月までに修了見込みの者を含む。）又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの（昭和56年文部省告示第153号）
- イ 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（平成30年3月までに修了見込みの者を含む。）
- ウ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者（平成17年文部科学省告示第137号）
- エ 文部科学大臣の指定した者〔昭和23年文部省告示第47号（大学入学に関し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者の指定）〕
- オ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）による高等学校卒業程度認定試験に合格した者（平成30年3月までに合格見込みの者を含む。）で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの
- カ 大学入学資格検定に合格した者
- キ 学校教育法第90条第2項の規定により大学に入学した者であって、本学において、大学における教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
- ク 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

(備考)

- 本学では、大学入試センター試験の前年度以前の成績は利用しません。
- 上記の「ク」については、「5 岐阜大学入学資格審査」を参照してください。
- 障害のある志願者で、事前の相談を希望する方は、「6 障害等のある者の出願にあたっての事前相談」を参照してください。
- 他大学在学中の方について、本学は受験許可証の提出を必要としません。

5 岐阜大学入学資格審査

4 出願資格(3)ク(学校教育法施行規則第150条第7号)により岐阜大学へ出願する者は、事前に個別の入学資格審査を受け、入学資格を認められる必要があります。

なお、平成30年度大学入試センター試験の出願時に、本学の入学資格の認定を受けた者は、以下の申請は不要です。出願の際に、岐阜大学入学資格認定書の写しを添付してください。

5-1 申請期間及び申請書類の送付先等

他大学において入学資格の認定を受け、平成30年度大学入試センター試験に出願し受験した者が、本学の一般入試に出願する場合は、一般入試出願初日の3日前までに申請することができます。

申請書類を郵送する場合は、必ず簡易書留郵便とし封筒表面に「大学入学資格認定書交付申請」と朱書きしてください。

申請先 〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
岐阜大学学務部入試課 あて

5-2 入学資格審査の対象者

ア 高等学校段階を有する外国人学校を卒業した者又は卒業見込みの者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

イ ア以外の者であっても、各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が、高等学校を卒業した者の学力と同等以上であると認められる者で、平成30年3月31日までに18歳に達するもの

5-3 申請手続

次の書類を添え、申請してください。

(1) 共通の書類

- ① 入学資格認定書交付申請書(本学所定の用紙)
- ② 平成30年度大学入試センター試験受験票
- ③ 返信用封筒(申請者の宛先を明記し、速達簡易書留による切手を貼付してください。)

(2) 前項のアに該当する者

- ① 最終学校の卒業(修了)証明書又は卒業(修了)見込み証明書
- ② 高等学校に対応する学校の課程に在学している者は、当該学校の学則(修業年限、授業科目、標準単位数、週当たり授業時数及び年間授業週数が明示されたもの)
- ③ 教科・科目の履修状況(調査書に準じたもの)

(3) 前項のイに該当する者

- ① 学習等の履歴書
- ② 各種の学校などでの学習歴、社会での実務経験等が客観的に確認できる書類

5-4 本学所定の用紙の請求方法

入学資格認定書交付申請書の用紙を請求する場合は、返信用封筒として「長形3号封筒(縦23.5cm×横12.0cm)」を用意し、それにあなたの受信住所、郵便番号、氏名を記入の上、82円切手を貼付し、これを折りたたんでも構いませんので、定形内の封筒に入れ、表に「入学資格認定書交付申請書請求」と朱書きし、岐阜大学学務部入試課へ申し込んでください。

5-5 審査方法等

審査請求があったときは申請書類により速やかに審査を開始します。

5-6 審査基準

① 当該学校の教育内容等が高等学校学習指導要領に準じているかを精査し、高等学校と同等以上であるかを審査します。

当該学校の年間及び週当たりの授業時間数、履修する主要教科・科目及び卒業までに必要な単位数が、高等学校学習指導要領に定める標準授業時数、すべての生徒に履修させる各教科・科目及び卒業までに修得させる単位数と同等以上であること。

② 申請者の学習歴及び社会での実績等について精査し、高等学校卒業と同等以上の学力があること。

5-7 資格審査の結果

資格審査の結果は、速やかに申請者あてに郵送により通知します。入学資格を認められた者については、「岐阜大学入学資格認定書」を同封します。

5-8 岐阜大学一般入試の受験

「岐阜大学入学資格認定書」の交付を受けた者は、本学の一般入試に出願し受験することができます。

出願の際は、必ず「岐阜大学入学資格認定書」の写しを添付してください。

6 障害等のある者の出願にあたっての事前相談

6

本学では、障害等のある志願者が、受験上不利となることがないように必要な配慮を行っており、そのための相談を次のとおり受け付けています。相談の内容によっては対応に時間を要することがありますので、相談の期限にかかわらず、できるだけ早く相談してください。

なお、事前相談は受験に関して、よりよい方法及び在り方を模索するためのもので、入試結果の判定において不利になることはありません。

また、入学後の修学に関して相談を希望する方は、志望する学部の学務係へ問い合わせてください。

6-1 相談の期限

願書受付開始日の4日前まで

(注) 日常生活においては、ごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定や他の配慮との関係から受験上の配慮として申請が必要です。

6-2 相談の方法

①本学所定の用紙「障害者等受験上の配慮申請書」及び②大学入試センター試験受験上の配慮事項決定通知書(写し・該当者のみ)に③医師の診断書及び障害者手帳(写し・該当者のみ)を添付し、志望する学部の学務係に提出してください。(所在地、電話番号等は59ページ参照)

なお、必要な場合には、志願者又は関係者との面談等を行うことがあります。

6-3 本学所定の用紙の請求方法

用紙は、岐阜大学のホームページ〈入試案内〉からダウンロードすることができます。

郵便で用紙を請求する場合は、封筒の表に「障害者等受験上の配慮申請書請求」と朱書きし、82円分の切手を貼った返信用封筒(長形3号封筒(縦23.5cm×横12.0cm))を同封し、以下の〈請求先〉に送付してください。

※同封の返信用封筒には、あなたの住所、郵便番号、氏名(宛名)を明記してください。返信用封筒は折りたたんで構いません。

〈請求先〉

〒501-1193 岐阜市柳戸1-1

岐阜大学学務部入試課 [電話 058-293-2156, 2157] 又は、各学部の学務係

(所在地、電話番号等は59ページ参照)

6-4 相談の期限後に生じた不慮の事故等による場合

相談の期限後に不慮の事故等により障害を有することとなった場合は、至急志望する学部の学務係へ問い合わせてください。(59ページ又は裏表紙参照)

7 前期日程

7

前期日程（募集人員）

1 募集人員

1-1 教育学部

課程・講座		募集人員	課程・講座		募集人員
学校教員養成課程	国語教育	19人	学校教員養成課程	家政教育	8人
	* 社会科教育	28人		英語教育	14人
	数学教育	16人		学校心理学コース	10人
	* 理科教育	20人		教職基礎コース	7人
	音楽教育	8人		小計	149人
	美術教育	6人	特別支援学校教員養成課程	15人	
	保健体育	7人	計	164人	
	技術教育	6人			

(注) *印の2講座には、それぞれ次の専攻があります。

社会科教育講座：「史学」、「地理学」及び「現代社会」の3専攻

理科教育講座：「物理学」、「化学」、「生物学」及び「地学」の4専攻

上記2講座の合格者については、合格者発表時において、志願者の専攻の志望順位及び試験成績を考慮し、各講座の募集人員のそれぞれ1/4（現代社会専攻は1/2）を目安に、各専攻に割り振ります。

1-2 地域科学部

学 科	募集人員
地域政策学科・地域文化学科	60人

(注) 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。

1-3 医学部

学 科	募集人員
医 学 科	32人
看護学 科	47人
計	79人

1-4 工学部

学 科・コース		募集人員	学 科・コース		募集人員
社会基盤 工学 科	環境コース	13人	電気電子・情報 工 学 科	電気電子コース	34人
	防災コース	13人		情報コース	32人
機 械 工 学 科	機 械 コース	37人		応用物理コース	11人
	知能機械コース	23人	計	232人	
化学・生命工学科	物質化学コース	39人			
	生命化学コース	30人			

1-5 応用生物科学部

課程・学科	募集人員
応用生命科学課程	54人
生産環境科学課程	50人
共同獣医学科	26人
計	130人

2 段階選抜の実施

医学部医学科の志願者数が募集人員の約 15 倍を超えた場合には、個別学力試験を適切に実施するため、大学入試センター試験の成績（前期日程試験で用いる科目・配点に同じ、満点 800 点）により第 1 段階選抜を行います。なお、第 1 段階選抜の結果は、平成 30 年 2 月 7 日（水）15 時に岐阜大学ホームページ（<http://www.gifu-u.ac.jp>）でセンター試験受験番号により発表します。また、第 1 段階選抜の結果、不合格となった者には不合格通知を送付します（2 月 13 日頃発送予定）。この場合、検定料の一部（13,000 円）を返還します。検定料返還についても、不合格の結果と併せて通知します。

3 個別学力検査等の期日及び試験場

試験場は、全て岐阜大学〔岐阜市柳戸 1 番 1〕です。

平成 30 年 2 月 25 日（日）

学部等	教科等及び時間		試験場	
教育学部	数 学 9:30 ~ 11:30	国 語 13:20 ~ 15:00	全学共通教育講義棟 1・2F	
地域科学部		小 論 文 13:00 ~ 15:00	地域科学部	
医学部 (医学科)		理 科 13:00 ~ 15:00	外 国 語 16:10 ~ 17:40	全学共通教育講義棟 3・4F
医学部 (看護学科)		国 語 13:20 ~ 15:00		医学部看護学科
工学部				工学部
応用生物科学部 (応用生命科学課程 生産環境科学課程)		理 科 13:00 ~ 15:00		応用生物科学部
応用生物科学部 (共同獣医学科)			外 国 語 16:10 ~ 17:40	

平成 30 年 2 月 26 日（月）

学部	内容及び時間	試験場
教育学部	実 技 検 査 (音楽) 9:00 ~ 18:00 (美術) 9:00 ~ 12:00 (※面接 13:00 ~) (体育) 9:00 ~ 17:00	教育学部
医学部 (医学科)	面 接 9:00 ~ 12:30 (予定)	医学部教育・福利棟

- (注) ① 試験場の下見は試験前日にできます。ただし、校舎内へは入れません。(→ P.60 ~)
- ② 教育学部の実技検査受験者の集合時刻・場所は、試験前日に教育学部校舎前及び全学共通教育講義棟前に掲示します。特に、音楽実技検査の受験者は受験番号によって集合時刻が異なる場合があるので、実技検査の前日に確認しておいてください。(電話での問い合わせには、一切応じません。)
- ③ 医学部医学科の面接については、集合時刻・場所等を前日の学力検査の際に、掲示により指示するので、必ず確認してください。
- ④ 試験場への集合時刻は、試験開始 30 分前です。
試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後 30 分以内に限り、受験を認めます。
- ⑤ 志願者数によりキャンパス内での試験場変更の可能性がありますので、受験票で確認してください。
- ⑥ **大学入試センター試験受験票** と **岐阜大学受験票** の両方を必ず持参してください。
- ⑦ 試験終了時刻は上記のとおりですが、試験開始時刻の繰り下げ等、不測の事態発生の場合はこの限りではありません。帰路の予定を立てるにあたりお含みおきください。

4 出願手続

4-1 出願期間

平成30年1月22日(月)～1月31日(水) 17時必着

出願は郵送に限ります。

出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、1月29日(月)以前(1/29を含む)の発信局(日本国内)消印のある簡易書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

4-2 出願方法等

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) この要項に添付してある本学所定の出願用封筒(前期日程用)を使用し、出願書類(→P.16)を入れ、郵便局の窓口で簡易書留速達として郵送してください。

なお、この際に郵便局の窓口で受け取った簡易書留の受領証は、出願したことの重要な証明書類となりますので、大切に保管しておいてください。

(2) 出願書類受付後は、記載内容の変更は認めません。また、一度受理した出願書類及び一旦領収した検定料は原則として返還しません。

4-3 受験票

(1) 受験票は、本学で作成のうえ平成30年2月13日(火)頃に郵送します。2月16日(金)を過ぎても届かない場合は、出願した学部(→P.59又は裏表紙)に確認してください。

(2) 受験番号は、受験票により通知します。

なお、受験票受領後、「 受験番号(前期日程)」(→P.32)を参照して、必ず出願内容と相違ないか確認してください。

4-4 複数受験

(1) 後期日程の大学・学部(本学及び他大学)との併願は可能です。

また、本学の学部間、同一学部内の学科・課程・講座等間での併願も可能です。(前期日程と後期日程で志望学科・課程・講座等が同一であるか異なるかを問わず、どの学科・課程・講座等への併願も可能です。)

(2) 前期日程の大学・学部(本学及び他大学)との併願はできません。

(3) 前期日程試験に合格し、平成30年3月15日(木)までに入学手続を完了した者は、後期日程試験を受験しても合格者とはなりません。

(4) 他の国公立大学・学部の推薦入学合格者は、当該推薦入学を実施した大学・学部の定める推薦入学辞退手続によって入学辞退を許可された場合を除き、本学の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。

4 - 5 出願書類等

	種 類	該 当 者
1	岐阜大学入学志願票（前期日程用）	全員
2	調査書	全員
3	入学検定料振込証明書（検定料 17,000 円を振込済のもの）	全員（入学志願票に貼付）
4	出願書類到着確認書	全員
5	楽譜・選択楽曲調書	教育学部音楽教育講座の志願者
6	運動歴調書	教育学部保健体育講座の志願者

〈注意事項〉

1. 岐阜大学入学志願票（前期日程用）

④ - 6「入学志願票」の記入に関する注意事項（→ P.18 ~ 23）を確認して、漏れなく記入してください。

2. 調査書

卒業見込みの者

在学する学校長が作成し、厳封してください。

既卒者

出身の学校長が作成し、厳封してください。平成 23 年度入学者選抜から様式が変更になっていますので注意してください。（様式が旧来の場合は、現行の様式で作成した調査書を提出してください。）

高等学校卒業程度認定試験の全科目合格者（合格見込み者含む）

合格証明書と合格成績証明書（合格見込み者は、合格見込成績証明書）を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験の合格者で免除科目がある者（合格見込み者含む）

合格証明書と合格成績証明書（合格見込み者は、合格見込成績証明書）に加え、学校長が発行した当該科目の成績証明書又は調査書を提出してください。

大学入学資格検定合格者

合格証明書と成績証明書を提出してください。

大学入学資格検定合格者で免除科目がある者

合格証明書と成績証明書に加え、学校長が発行した当該科目の成績証明書又は調査書を提出してください。

その他（以下の理由で調査書が提出できない者）

指導要録の保存期間の終了、廃校、被災、その他の理由によって出身学校の調査書が提出できない者

単位修得証明書等と卒業証明書の提出をもってこれに代えることができます。

さらに、単位修得証明書等も提出できない場合は、単位修得証明書等が発行できない旨の証明書と卒業証明書をもって代えることができます。この場合、厳封する必要はありません。

3. 入学検定料振込証明書

①所定の「岐阜大学検定料振込依頼書」（前期日程用）に住所、氏名等必要事項を記入の上、金融機関窓口で検定料を振り込んでください。振込手数料は負担願います。

②振り込んだ際に、金融機関が収納印を押した「振込証明書」と「受領書」を必ず受け取ってください。

③「振込証明書」は振込みの証明のため、入学志願票に貼り、出願書類として提出してください。

④「受領書」は本学から「受験票」が届くまでは保管してください。

〈振込みにあたっての注意事項〉

○「電信扱い」が利用できる金融機関（銀行、信用金庫、農協、信用組合）で手続きしてください。

ゆうちょ銀行は利用できません。

○午後は「電信扱い」の取扱いができない金融機関があります。銀行等の取扱い期限日（振込依頼書に記載）には、振込手続を午前中に済まされるよう特に注意してください。

○一旦領収した検定料は原則として返還しませんので注意してください。

4. 出願書類到着確認書

志願者本人の受信住所、氏名を2か所に記入し、ミシン目を切らずにそのまま提出してください。

出願書類が到着し、整理が済み次第順次、出願書類到着確認書（はがき）を送付します。

5. 楽譜・選択楽曲調書

【楽譜】余白に志願者本人の氏名、作曲者名、曲名を記入してください。

なお、1曲が複数枚となる場合は左上をホッチキスで留めて提出してください。

【選択楽曲調書】所定の用紙（前期日程用）を使用し、欄外に記載されている記入上の注意事項を確認して、漏れなく記入してください。

6. 運動歴調書

所定の用紙（前期日程用）に記入の上、調査書に同封してください。

実技検査選択種目欄には、入学志願票の「保健体育講座実技」欄でレ点を記入した種目と同じ種目の番号を○で囲んでください。

競技歴は都道府県大会以上について記載し、記載する成績・記録等が無い場合は枠内に「記載事項なし」と記載してください。なお、その場合も記載責任者の記載および押印は必要です。

7. 出願用封筒

所定の封筒（前期日程用）に出願書類を入れて、郵便局の窓口で簡易書留速達として郵送してください。

封筒おもて面の志願学部記入欄には学部名を記入してください。ただし、医学部は医学科か看護学科と記入してください。学部別の記入欄には必ず該当項目を記入又は○で囲んでください。差出人欄にも忘れずに記入してください。

封筒うら面の出願書類チェック欄を使って封筒に入れる書類を確認してください。

出願書類一式が入っていた封筒は不要ですので使用しないでください。

HB または B の鉛筆で、濃く、はっきりと記入すること

〈入学志願票の記入例(工学部)〉

この欄には記入しないでください。

鉛筆で記入 平成30年度 岐阜大学入学志願票(前期日程用)

フリガナ ヤギ ド タロウ 氏名 柳 戸 太郎
 生年月日 昭和・平成 11 年 4 月 2 日
 性別 男・女

1 志望学部 教育学部 地域科学部 医学部 工学部 応用生物科学部

志望学科等
 第1志望 第2志望 第3志望
 ② 環境防災

志望専攻等
 教育学部社会科教育講座 史 地理 現社 学 学 代会
 第1志望 第2志望 ③

受験教科・科目等
 教育学部 国語 数学(I) 数学(II) 外国語
 医学部医学科 物基・物 化基・化 生基
 ④ 医学部 数学 国語
 教育学部(実技系選考科目) 国語 数学(I) 数学(II) 外国語
 地域科学部 数学 外国語

保健体育講座実技
 陸上競技 水泳 器械運動 柔道 剣道 バレーボール バスケットボール ハンドボール サッカー ダンス

レ点の記入忘れに注意

大学入試センター試験受験教科・科目届 (受験したすべての科目にレ点を記入してください。)

国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	外国語	韓国語
国語	世界史A	世界史B	数学I	数学II	物理基礎	化学基礎	英語	中国語
レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ

6 出願資格 岐阜 都道府県 国立 公立 私立 金華 高等学校 普通科 昭和 平成 30 年 3 月 卒業 卒業見込

その他の出願資格 (該当者は右のいずれかに○をしてください。)

7 送受付先住所等 〒5000000 岐阜市〇〇町△△1丁目1番地 ユーポロ 707号室

8 連絡先 (住所) 同上
 電話番号 (058) 100 2000
 携帯番号 080 3600 4000
 氏名 柳戸 浩
 携帯番号: 090 5000 6000

10 「前」平成30センター試験成績請求票(国公立前期日程用)をはがれないようにしっかり貼り付けてください。

※センター試験受験番号を左の文字書体見本のとおりに記入
 (例) ① 2 3 4 5 6 7 8 9 0 Z ①

国語は必須科目ですので予めレ点を記入してあります

試験場コード 受験番号 発行回数

7 前期日程「入学志願票」記入例

4-6 「入学志願票」の記入に関する注意事項

必ず「HB 又は B の鉛筆」を使用して、濃く、はっきりと記入してください。訂正する場合は、消しゴムでしっかりと消してから記入してください。ボールペン等は使用しないでください。誤ってボールペン等で記入してしまった場合は、その上から鉛筆でなぞってください（氏名、住所、連絡先は鉛筆でなぞる必要はありません）。

左ページの記入例と以下の①～⑤をよく読んで記入してください。

※ 入学志願票は、必ず志願者本人が記入してください。

○志望学部 ①

志望する学部にレ点を記入してください。

○志望学科等 ②

学科等コード表（→ P.21）の中から、志望する学科等を選択・記入（略称の記載がある場合は略称を記入）し、志望する学科等のコードをレ点で記入してください。

志願票に記入した学科等名と学科等コードが異なっている場合は、学科等名を志望先と判断します。

・教育学部を志望する者は、**教育学部の出願に関する注意事項**（→ P.22）の（1）を参照してください。

・地域科学部を志望する者は、記入不要です。

・工学部を志望する者は、1つの学科へ出願することができます。出願する学科内のコースに志望順位をつけることができます。詳しくは、**工学部の出願に関する注意事項**（→ P.23）を参照してください。

・応用生物科学部について

（応用生命科学課程・生産環境科学課程を志望する者）

他の課程を第2志望とすることができます。その場合は、第2志望の課程名を第2志望欄に記入してください。ただし、共同獣医学科を第2志望とすることはできません。

（共同獣医学科を志望する者）

他の課程を第2志望とすることはできません。

○志望専攻等（教育学部社会科教育講座、理科教育講座） ③

教育学部の出願に関する注意事項（→ P.22）の（2）を参照してください。

○受験教科・科目等（工学部志願者を除く。→ P.26 ～） ④

受験する教科・科目を選択し、レ点を記入してください。

医学部医学科の場合、理科3科目のうちから2つ選択し、レ点を記入してください。

教育学部の保健体育講座を志望する場合、実技種目を1つ選択し、レ点を記入してください。

○大学入試センター試験受験教科・科目届 ⑤

上段には受験した教科・科目全てにレ点を記入してください。地理歴史、公民、理科②の第2解答科目として受験した科目には、下段にもレ点を記入してください。また、外国語欄の記入漏れに注意してください。なお、国語は必須科目ですので予めレ点を記入してあります（国語を受験していない者は本学を志望できません）。

○出願資格 ⑥

記入例を参考に記入し、該当するところを○で囲んでください。

高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）以外の出願資格の方は、該当するところを○で囲んでください。

○受験票等送付先住所 ⑦

ここに記入された住所に受験票を送付しますので、確実に届く住所を枠からはみ出さないように、丁寧に濃くはっきりと記入してください。（氏名と住所は筆跡のまま受験票発送の宛名として転写しますので、文字は濃く記入してください。）

○連絡先 ⑧

住所が、受験票等送付先住所と同じ場合には、「同上」と記入してください。


追加合格の通知（→P.63）のための連絡先にもなります。

願書に不備があった場合には、大学担当者から問い合わせることがありますので、確実に連絡が取れるようにしてください。

○写真 ⑨

願書提出日前3ヶ月以内に撮影した無帽、上半身、縦4cm×横3cmの写真の裏に志望学部、学科等及び氏名を記入してください。写真は貼り付け欄の透明フィルムをはがして、のり面にしっかり貼り付けてください（はがしたフィルムは捨ててください）。写真はこの1枚のみで、他に提出の必要はありません。

○平成30年度センター試験成績請求票 ⑩

「 平成30年度センター試験成績請求票（国公立前期日程用）」をはがれないようにしっかり指定場所に貼り付けてください。

○大学入試センター試験受験番号等 ⑪

入学志願票の指定場所に、大学入試センター試験受験票の試験場コード、受験番号、発行回数を、「文字書体見本」のとおりの字形で枠の中におさまるよう記入してください。

文字書体見本

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
A	B	C	H	K	M	R	U	X	Y	Z

・悪い例： 細い

（注意）○で囲んだ部分が不可です。文字書体見本の字形で書いてください。

○入学検定料振込証明書 ⑫

検定料を納付した際に受取った「入学検定料振込証明書」を入学志願票の指定場所にはがれないようにしっかりと貼り付けてください。他大学の振込証明書を間違えて貼り付けないよう注意してください。

学科等コード表

学 部	学 科 等		略称	学科等コード
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	国語教育	国語	01
		社会科教育	社会	02
		数学教育	数学	06
		理科教育	理科	07
		音楽教育	音楽	11
		美術教育	美術	12
		保健体育	体育	13
		技術教育	技術	14
		家政教育	家政	15
		英語教育	英語	16
		学校教育(心理学コース)	心理	26
学校教育(教職基礎コース)	教職	27		
	特別支援学校教員養成課程	特支	20	
医 学 部		医学科		01
		看護学科		02
工 学 部	社会基盤工学科	環境コース	環境	01
		防災コース	防災	02
	機械工学科	機械コース	機械	03
		知能機械コース	知能	04
	化学・生命工学科	物質化学コース	物質	05
		生命化学コース	生命	06
	電気電子・情報工学科	電気電子コース	電気	07
		情報コース	情報	08
	応用物理コース	物理	09	
応用生物科学部		応用生命科学課程	応用	01
		生産環境科学課程	生環	02
		共同獣医学科	獣医	03

※ 略称の記載がある学科等は、入学志願票「志望学科等」欄に略称を記入してください。

教育学部の出願に関する注意事項

(1) 出願する課程・講座〈志願票の記入例（P. 18）志望学科等②〉

- ① 前期日程については、学校教育教員養成課程の中の12講座（ただし、学校教育講座は心理学コース、教職基礎コースをそれぞれ一つの講座として扱います。）と特別支援学校教員養成課程から最大三つまで出願することができます。（一つ又は二つの講座だけを出願しても構いません。）
- ② 実技系講座（音楽教育、美術教育、保健体育の3講座）のうちからは、一つしか出願できません。
- ③ 実技系講座から一つと、非実技系講座から一つ又は二つを組み合わせ出願することもできます。

(2) 志望する「専攻」の記入〈志願票の記入例（P. 18）志望専攻等③〉

社会科教育講座を出願する場合は、第1志望から第3志望まで、理科教育講座を出願する場合は、第1志望から第4志望までの「専攻」を必ず記入してください。（最終志望まで記入しない場合には、不利益が生じる可能性があります。詳細は、教育学部学務係（→P.59又は裏表紙）までお問い合わせください。）

- ・社会科教育講座の専攻：「史学」、「地理学」、「現代社会」
- ・理科教育講座の専攻：「物理学」、「化学」、「生物学」、「地学」

(3) 講座による受験教科の制約・志願票の記載方法〈志願票の記入例（P. 18）受験教科・科目等④〉

① 実技系講座のみ単独で出願する場合

国語、数学（数学Ⅰ又は数学Ⅱ）、外国語のうち1教科を受験

【志願票】受験教科・科目等欄の教科のうち選択する1教科にレ点を記入し、教育学部（実技系選考科目）欄にも同じ1教科にレ点を記入してください。

保健体育講座を出願する者は、保健体育講座実技欄にある実技種目を1つ選択し、レ点を記入してください。

② 非実技系講座を出願する場合

志望順位に関係なく国語、数学（数学Ⅰ又は数学Ⅱ）、外国語のうち各講座が指定する2教科を受験

【志願票】受験教科・科目等欄の教科のうち選択する2教科にレ点を記入してください。ただし、教育学部（実技系選考科目）欄には記入しないでください。

③ 実技系講座と非実技系講座を併願して出願する場合

実技検査（講座による指定）と非実技系に適合する学力検査2教科を受験

【志願票】受験教科・科目等欄の教科のうち選択する2教科にレ点を記入し、教育学部（実技系選考科目）欄には受験教科・科目等欄で選択した2教科のうち1教科にレ点を記入してください。

保健体育講座を出願する者は、保健体育講座実技欄にある実技種目を1つ選択し、レ点を記入してください。

○非実技系講座等志望者の受験教科の組合せ

受験可能な教科 非実技系の講座等	数学Ⅰ 国語	数学Ⅰ 外国語	数学Ⅱ 国語	数学Ⅱ 外国語	国語 外国語
数学教育	不可	不可	○	○	不可
理科教育、技術教育	○	○	○	○	不可
国語教育、社会科教育、家政教育、英語教育、学校教育、特別支援学校教員養成課程	○	○	○	○	○

工学部の出願に関する注意事項

- ・1つの学科へ出願することができます。
- ・出願する学科内のコースに志望順位をつけることができます。社会基盤工学科，機械工学科，化学・生命工学科の3学科はそれぞれの学科内の2コースについて，第2志望まで順位をつけられます。電気電子・情報工学科は学科内の3コースについて，第3志望まで順位をつけられます。
- ・第1志望のコースだけの出願もできます。
- ・合格者の決定については，「一般入試合否判定基準」の工学部（→P.56）をご覧ください。

◎志望学科に対して出願できる志望コースの組合せ（表中の数字は学科等コード）

社会基盤工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
環境 01	防災 02	
環境 01		
防災 02	環境 01	
防災 02		

電気電子・情報工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
電気 07	情報 08	物理 09
電気 07	物理 09	情報 08
電気 07	情報 08	
電気 07	物理 09	
電気 07		
情報 08	物理 09	電気 07
情報 08	電気 07	物理 09
情報 08	物理 09	
情報 08	電気 07	
情報 08		
物理 09	電気 07	情報 08
物理 09	情報 08	電気 07
物理 09	電気 07	
物理 09	情報 08	
物理 09		

機械工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
機械 03	知能 04	
機械 03		
知能 04	機械 03	
知能 04		

化学・生命工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
物質 05	生命 06	
物質 05		
生命 06	物質 05	
生命 06		

《参考》出願が認められない複数志望コースの組合せの一例

（例）社会基盤工学科 を志望する場合

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
× 環境 01		防災 02
× 環境 01	防災 02	物理 09
× 防災 02	機械 03	
× 知能 04	防災 02	

注意点

- ←第3志望欄には記入できません。（社会，機械，化生の3学科共通）
- ←第3志望欄に他学科のコースは記入できません。
- ←第2志望欄でも他学科のコースは記入できません。
- ←第1志望欄でも他学科のコースは記入できません。

（例）電気電子・情報工学科 を志望する場合

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
× 電気 07		情報 08
× 電気 07	情報 08	知能 04
× 物理 09	物質 05	電気 07
× 知能 04	情報 08	

注意点

- ←第2志望欄を記入しないで第3志望欄に記入することはできません。
- ←第3志望欄に他学科のコースは記入できません。
- ←第2志望欄でも他学科のコースは記入できません。
- ←第1志望欄でも他学科のコースは記入できません。

5 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学部	受験を要する教科・科目												合				
	国語		地理歴史		公民		数学		理学		外国語						
	国	語	世	界	史	A	B	地	理	地	理	英		日	中	韓	
教育学部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5～6 教科
	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7～8 科目
地域政策学科 地域文化学科 (入試は学部 単位で実施)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5～6 教科
	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7～8 科目
医学科	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5教科
	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7科目
看護学部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5教科 7科目, 6教科 7～8 科目
	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7～8 科目

学部	受験を要する教科・科目										合							
	国語		地理歴史		公民		数学		理科			外国語						
	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	現代社	倫理政治・経済	数学①	数学②	物理基礎	化学基礎		生物基礎	地学基礎	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語	
工学部	○	○	○	○	○	○	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科
応用生物科学部	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	7科目
	◎	○	○	○	○	○	◎	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科
共同獣医学科	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	7科目
	◎	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	○	5教科
	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	7科目

(注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。

2 「地理歴史、公民」「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。

(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。)

3 教育学部、地域科学部及び医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」「理科②」をいずれも2科目ずつ4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。

4 教育学部、地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点

5 医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点

6 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

なお、教育学部、医学部看護学科の志願者が、「地理歴史、公民」から1科目、「公民」から1科目の選択となります。
7 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校(中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。)においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。「情報関係基礎」においては、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者)

8 「外国語」のうち、「英語」は、「筆記試験」と「リスニングテスト」の双方を課します。筆記試験を受験し、リスニングテストを受験しなかった場合は、リスニングテストの得点は0点となります。ただし、リスニングテストが免除となる受験上の配慮決定者については、筆記試験の得点を「英語」として各学部が定める配点に換算します。

6 個別学力検査等の実施教科・科目等

6-1 教科・科目表

学部	学科・課程・講座・コース	教科・科目等	摘要
教育学部	国語教育 社会科教育 家政科教育 英語教育 英学校教育 特別支援学校教員養成課程	①「国語」 ②「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」のどちらか1つを選択 ③「外国語」 上記の①～③のうち2つを選択	出題範囲 国語総合 数学Ⅰ（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B） 数学Ⅱ（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ）
	数学教育	①「数学Ⅱ」必須 ②「国語」及び「外国語」のどちらか1つを選択	・数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲：全範囲（ただし，数Ⅰは「データの分析」を除く。） ・数Aの範囲：「場合の数と確率」，「図形の性質」（「整数の性質」に関しては，小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。） ・数Bの範囲：「数列」，「ベクトル」
	理科教育	①「数学Ⅰ」及び「数学Ⅱ」のどちらか1つを選択 ②「国語」及び「外国語」のどちらか1つを選択	外国語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰ） 実技検査（音楽，美術，体育）
	音楽・保健・体育	①「実技検査」必須 ②「国語」，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」及び「外国語」のうちから1つを選択	
	美術教育	①「実技検査」及び「面接」必須 ②「国語」，「数学Ⅰ」，「数学Ⅱ」及び「外国語」のうちから1つを選択	
地域科学部		①「小論文」必須 ②「数学」及び「外国語」のどちらか1つを選択	出題範囲 数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B） ・数Ⅰ・数Ⅱの範囲：全範囲（ただし，数Ⅰは「データの分析」を除く。） ・数Aの範囲：「場合の数と確率」，「図形の性質」（「整数の性質」に関しては，小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。） ・数Bの範囲：「数列」，「ベクトル」 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰ）
医学部	医学科	数学 必須 外国語 必須 理科「物基・物」，「化基・化」及び「生基・生」から2つを選択 面接 必須	出題範囲 数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ） ・数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲：全範囲（ただし，数Ⅰは「データの分析」を除く。） ・数Aの範囲：「場合の数と確率」，「図形の性質」（「整数の性質」に関しては，小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。） ・数Bの範囲：「数列」，「ベクトル」 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，コミュニケーション英語Ⅲ，英語表現Ⅰ） 理科 ・物基・物の範囲：物理基礎，物理の全範囲 ・化基・化の範囲：化学基礎，化学の全範囲 ・生基・生の範囲：生物基礎，生物の全範囲
	看護学科	①「外国語」必須 ②「国語」及び「数学」のどちらか1つを選択	出題範囲 国語総合 数学Ⅰ（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B） ・数Ⅰ・数Ⅱの範囲：全範囲（ただし，数Ⅰは「データの分析」を除く。） ・数Aの範囲：「場合の数と確率」，「図形の性質」（「整数の性質」に関しては，小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。） ・数Bの範囲：「数列」，「ベクトル」 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰ）
工学部	社会基盤工学科 環境コース 防災コース 機械工学科 機械コース 知能機械コース 電気電子・情報工学科 電気電子コース 情報コース 応用物理コース	数学 必須 理科「物基・物」 必須 外国語 必須	出題範囲 数学（数Ⅰ，数A，数Ⅱ，数B，数Ⅲ） ・数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲：全範囲（ただし，数Ⅰは「データの分析」を除く。） ・数Aの範囲：「場合の数と確率」，「図形の性質」（「整数の性質」に関しては，小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。） ・数Bの範囲：「数列」，「ベクトル」 理科 ・物基・物の範囲：物理基礎，物理の全範囲 ・化基・化の範囲：化学基礎，化学の全範囲
	化学・生命工学科 物質化学コース 生命化学コース	数学 必須 理科「化基・化」 必須 外国語 必須	外国語（コミュニケーション英語Ⅰ，コミュニケーション英語Ⅱ，英語表現Ⅰ）

7

前期日程（個別学力検査等の実施教科・科目等）

学部	学科・課程・講座・コース	教科・科目等	摘要
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	数学 必須 理科 「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」 から1つを選択	出題範囲 数学（数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B） ・数Ⅰ・数Ⅱの範囲:全範囲（ただし, 数Ⅰは「データの分析」を除く。） ・数Aの範囲:「場合の数と確率」, 「図形の性質」 （「整数の性質」に関しては, 小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。） ・数Bの範囲:「数列」, 「ベクトル」 理科 ・物基・物の範囲:物理基礎, 物理の全範囲 ・化基・化の範囲:化学基礎, 化学の全範囲 ・生基・生の範囲:生物基礎, 生物の全範囲
	共同獣医学科	理科 「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」 から1つを選択 外国語 必須	出題範囲 理科 ・物基・物の範囲:物理基礎, 物理の全範囲 ・化基・化の範囲:化学基礎, 化学の全範囲 ・生基・生の範囲:生物基礎, 生物の全範囲 外国語（コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ）

6-2 実技検査（教育学部）

(1) 音楽実技検査

教育学部音楽教育講座を出願する者は, 音楽実技検査を受験しなければなりません。

集合時刻は受験番号によって異なる場合があります。実技検査の前日に教育学部校舎前及び全学共通教育講義棟前に掲示しますので, 確認しておいてください。

次の3種目の実技検査を行います。

種目	内 容	注 意 事 項	楽譜コピー (○:要, ×:不要)
1	ソルフェージュ 新曲視唱（調号2つまで）		
2	声 楽 下記の歌曲の中から1曲を選び演奏する。 イタリア歌曲 A.Scarlatti : Già il sole dal Gange (As-dur) F.P.Tosti : Malia (Es-dur) ドイツ歌曲 W.A.Mozart : An Chloë (Es-dur, C-dur) F.Schubert : An die Musik (D-dur, C-dur) 日本歌曲 山田 耕柝 : からたちの花 (G-dur, Es-dur) 中田 喜直 : さくら横ちょう (b-moll, g-moll)	① 伴奏者は本学で用意する。 ② 暗譜演奏すること。	×
3	器 楽 下記の(1), (2)のどちらかを選択する。		
	(1) ピアノ演奏 下記の(イ), (ロ), (ハ)のうち1つを選び演奏する。 (イ) L.v.Beethoven 作曲の任意のピアノ・ソナタより第1楽章。 (ロ) J.S.Bach 作曲のインヴェンション・シンフォニアから任意の作品1曲。 (ハ) ロマン派, 近代(1945年以前に作曲されたものとする)のピアノ作品より1曲。	① 反復は省略すること。 ② 暗譜演奏すること。 ③ 楽譜は特に指定しない。	○ (ハの場合)
	(2) 管楽器・弦楽器・打楽器及びピアノ演奏 A 任意の管楽器・弦楽器又は打楽器の独奏曲(練習曲を含む)を演奏する。 B ピアノ演奏 上記の(1)と同じ課題とする。	A ① 検査当日は無伴奏とする。 ② 楽譜は見てもよい。 ③ 反復は省略すること。 ④ 楽曲の途中から演奏させることもある。 ⑤ 楽器は各自持参すること。 B 上記(1)ピアノ演奏の注意事項に同じ。	○ ○ (ハの場合)

共通注意事項

<提出物> 以下2点を他の出願書類と一緒に提出してください。

- (a) 選択楽曲調書（募集要項に封入）—— i) 楽曲名, ii) 調名, iii) 作曲者名（原語で作曲者名を併記）, iv) 楽譜の出版社名等を記入。
- (b) 「3器楽（1）ピアノ伴奏（ハ）ロマン派、近代のピアノ作品」および「3器楽（2）管・弦・打楽器」を選択した場合は、その楽譜のコピー—— 受験者名、作曲者名、曲名を記入。1曲が複数枚となる場合は、左上をホッチキスで留めて提出。

(2) 美術実技検査

教育学部美術教育講座を出願する者は、美術実技検査を受験しなければなりません。

集合時刻等については、実技検査の前日に教育学部校舎前及び全学共通教育講義棟前に掲示しますので、確認しておいてください。

構想画（自画像を雲のイメージと組み合わせた鉛筆画。四つ切り [380×540mm] 画用紙使用。）による実技検査を行います。

- ①カルトン、画用紙、鏡は大学で用意します。
- ②鉛筆、練りゴム等の描画材は各自持参してください。
- ③実技検査は3時間です。
- ④実技検査後に簡単な面接を行います。
- ⑤実技検査に資料の持ち込みを許可します。ただし、以下の事項に注意してください。
 - ・紙に描いたもの、または印刷したものに限りません。
 - ・A4 [210×297mm] サイズ以下のものを3枚まで（両面使用可）とします。
 - ・パソコン、スマートフォン、デジタルカメラ等の電子機器は使用を許可しません。

(3) 体育実技検査

教育学部保健体育講座を出願する者は、体育実技検査を受験しなければなりません。

集合時刻等については、実技検査の前日に教育学部校舎前及び全学共通教育講義棟前に掲示しますので、確認しておいてください。

次の2種目の実技検査を行いますので、事前に医師の健康診断（健康診断書の提出は不要）を受けておいてください。

A 運動の基礎的能力検査

B 運動の専門的能力検査（陸上競技、水泳、器械運動、柔道、剣道、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー及びダンスのうちから1種目を選択します。）

(注) 実技のできる服装及び体育館シューズ、グラウンドシューズを持参してください（受付後、更衣室において着替える時間を設けています）。

なお、このほかBの実技検査に使用する用具は、各自が持参しても構いません。

⑥-3 小論文（地域科学部）

テーマの的確な把握、論理的な思考力等をみるために行います。特定の教科の学力を問うものではありません。

⑥-4 面接（医学部医学科）

面接は、総合判定の資料（配点なし）とし、医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は、総合点にかかわらず不合格とします。

【各学部・学科等の入試における特色】

教育学部

〔前期日程・後期日程〕

卒業後に教師として必要となる幅広い基礎的学力を問うべく、センター試験を課します。個別学力検査では、前期日程において英語、数学、国語から2教科（音楽教育講座及び保健体育講座は関連する実技と1教科、美術教育講座は関連する実技に加え面接と1教科）、後期日程においては英語、数学、国語、理科（物理・化学・生物）から1教科（実技系は関連する実技）の試験を課し、教育学部で学ぶのに必要な論理的思考力（実技系は実技能力）を問います。

地域科学部

〔前期日程〕

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入試センター試験を課しています。

個別学力検査では、数学または英語（どちらかを選択）、および小論文試験を課しています。前者は、高校で学んだ数学または英語の学力を評価します。

また、後者は、読解力や論理的思考力・表現力・関心の広さ、着眼点などを評価します。

高校で履修しているどの授業も大切に、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

医学部医学科

〔前期日程・後期日程〕

大学入試センター試験で幅広い基礎学力を問い、個別学力検査（数学・理科（2科目）・外国語（英語））を課すことによって、理数系の能力と応用力、英語力を問い、論理的思考と問題解決能力に秀でた学生を選抜します。

また、医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性をみるために面接を行います。

医学部看護学科

〔前期日程〕

人を愛し生命を尊び、全ての人の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力を評価するために大学入試センター試験と個別学力検査として国語又は数学、英語を実施します。

工学部

〔前期日程・後期日程〕

大学入試センター試験では国語、地歴・公民、数学、理科、外国語の5教科を課し、受験する者がこれまでに身につけた基礎学力の評価を行います。

個別学力検査では、工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科（物理又は化学）並びに工学技術者として必須である英語を課し、大学入試センター試験と個別学力検査の合計点により合格者を決定します。

基礎学力に加えて理解力・応用発展能力がどれだけあるかを評価するため個別試験に重きを置き、大学入試センター試験と個別学力検査の配点比率は、前期日程を500：1000、後期日程を500：1500とします。

工学部は4学科9コースで構成され、出願時には志望学科にあるコースに限りコースに志望順位をつけて出願できます。

応用生物科学部

〔前期日程〕

一般的学力の高い学生を選抜する入試ですので、幅広く学習してきた者を対象としています。

大学入試センター試験と個別学力検査を課し、応用生命科学課程および生産環境科学課程においては理数系に秀でた者、共同獣医学科においては理科及び英語力を備えた者を求めています。

7 配 点

7

前期日程 (配点)

教科・科目等			国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	面接	合計	備考
学部・課程・講座	学校教育課程 国語教育 社会科教育 家庭科教育 英語教育 学校教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100			450	地歴、公民が2科目 (1科目) の場合は、理科が1科目 (2科目) 数学2科目
		個別	(200)			(200)		(200)			400	数学を選択する者は、数学Ⅰ、数学Ⅱのどちらか1つ
特別支援学校教員養成課程												
教育学部	学校教員養成課程	数学教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100			450	地歴、公民が2科目 (1科目) の場合は、理科が1科目 (2科目) 数学2科目
			個別	(200)			200		(200)		400	数学Ⅱ指定
		理科教育 技術教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100			450	地歴、公民が2科目 (1科目) の場合は、理科が1科目 (2科目) 数学2科目
			個別	(200)			200		(200)		400	数学は、数学Ⅰ、数学Ⅱのどちらか1つ
		音楽教育 保健体育	DNC	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100			450	地歴、公民が2科目 (1科目) の場合は、理科が1科目 (2科目) 数学2科目
			個別等	(200)			(200)		(200)	200	400	数学を選択する者は、数学Ⅰ、数学Ⅱのどちらか1つ
		美術教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100			450	地歴、公民が2科目 (1科目) の場合は、理科が1科目 (2科目) 数学2科目
			個別等	(200)			(200)		(200)	150	50	400

教科・科目等		国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	合計	備考
学部	地域科学部	DNC	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100		450	地歴、公民が2科目 (1科目) の場合は、理科が1科目 (2科目) 数学2科目
		個別等			(200)		(200)	200	400	

学部学科課程・コース		教科・科目等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	面接	合計	備考
医学部	医学科	DNC	100	100	200	200	200			800	数学2科目 理科2科目
		個別			400	400	400	※	1200	理科は、物基・物、化基・化、生基・生のうちから2つ(各200点)	
	看護学科	DNC	100	$\frac{100}{50}$	100	$\frac{50}{100}$	100			450	地歴、公民が2科目(1科目)の場合は、理科が1科目(2科目) 数学2科目
		個別	(200)		(200)		200		400		
工学部	社会基盤工学科	環境コース	200	100	200	200	200			500	数学2科目 理科2科目
		防災コース									
	機械工学科	機械コース	DNC	合計900点に9分の5を掛けて500点に換算する。							
		知能機械コース									
	化学・生命工学科	物質化学コース	個別			400	400	200		1000	
		生命化学コース									
電気電子・情報工学科	電気電子コース	個別									
	情報コース										
応用物理学部	応用物理学部	個別									
応用生物科学部	応用生命科学課程	DNC	200	100	200	200	250			950	数学2科目 理科2科目
		個別			200	200			400	理科は、物基・物、化基・化、生基・生のうちから1つ	
	生産環境科学課程	DNC	200	100	200	200	200			900	数学2科目 理科2科目
		個別				200	200		400	理科は、物基・物、化基・化、生基・生のうちから1つ	
共同獣医学科	DNC	200	100	200	200	200			900	数学2科目 理科2科目	
	個別					200	200		400	理科は、物基・物、化基・化、生基・生のうちから1つ	

(注) ① 配点の()は、選択を表します。

② 表中、DNCとは、大学入試センター試験を表します。

③ 「地歴」とは、「地理歴史」を表します。

④ ※面接は、総合判定の資料(配点なし)とし、医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は、総合点にかかわらず不合格とします。

⑤ DNCの「外国語」における「英語」は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を各学部が定める配点に換算します。また、地域科学部、工学部及び応用生物科学部については、「英語」以外の外国語は筆記試験(200点満点)の得点を各学部が定める配点に換算します。

8 受験番号 (前期日程)

7

前期日程 (受験番号)

学部	学科等	受験番号	備考	
教育学部	1 教科志願者	「国語」	1 0 0 1～	音楽教育単願者
			1 1 0 1～	美術教育単願者
			1 2 0 1～	保健体育単願者
		「英語」	1 3 0 1～	音楽教育単願者
			1 4 0 1～	美術教育単願者
			1 5 0 1～	保健体育単願者
		「数学Ⅰ」	1 6 0 1～	音楽教育単願者
			1 6 5 1～	美術教育単願者
			1 7 0 1～	保健体育単願者
		「数学Ⅱ」	1 8 0 1～	音楽教育単願者
			1 8 5 1～	美術教育単願者
			1 9 0 1～	保健体育単願者
	2 教科志願者	「国語」・「英語」	2 0 0 1～	実技系講座との併願のない志願者
			2 9 0 1～	音楽教育との併願者
			2 9 3 1～	美術教育との併願者
			2 9 6 1～	保健体育との併願者
		「国語」・「数学Ⅰ」	3 0 0 1～	実技系講座との併願のない志願者
			3 4 0 1～	音楽教育との併願者
			3 4 3 1～	美術教育との併願者
			3 4 6 1～	保健体育との併願者
		「国語」・「数学Ⅱ」	3 5 0 1～	実技系講座との併願のない志願者
			3 9 0 1～	音楽教育との併願者
			3 9 3 1～	美術教育との併願者
			3 9 6 1～	保健体育との併願者
		「数学Ⅰ」・「英語」	4 0 0 1～	実技系講座との併願のない志願者
			4 4 0 1～	音楽教育との併願者
			4 4 3 1～	美術教育との併願者
			4 4 6 1～	保健体育との併願者
「数学Ⅱ」・「英語」		4 5 0 1～	実技系講座との併願のない志願者	
		4 9 0 1～	音楽教育との併願者	
		4 9 3 1～	美術教育との併願者	
		4 9 6 1～	保健体育との併願者	
地域科学部		2 0 0 1～	「数学」選択者	
		4 0 0 1～	「外国語」選択者	
医学部	医 学 科	6 0 0 1～	「物理」・「化学」選択者	
		7 0 0 1～	「物理」・「生物」選択者	
		8 0 0 1～	「化学」・「生物」選択者	
	看 護 学 科	1 0 0 1～	「国語」選択者	
		2 0 0 1～	「数学」選択者	
工学部	社会基盤工学科	環境コース	1 0 0 1～	第1志望コースで受験番号を割り振ります。
		防災コース	2 0 0 1～	
	機 械 工 学 科	機械コース	3 0 0 1～	
		知能機械コース	4 0 0 1～	
	化学・生命工学科	物質化学コース	5 0 0 1～	
		生命化学コース	6 0 0 1～	
	電 気 電 子 ・ 情 報 工 学 科	電気電子コース	7 0 0 1～	
		情報コース	8 0 0 1～	
		応用物理コース	9 0 0 1～	
	応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	数学・化学	
数学・生物			3 0 0 1～	
数学・物理			4 0 0 1～	
共同獣医学科		化学・英語	8 0 0 1～	理科の選択科目で区分します。
		生物・英語	8 3 0 1～	
		物理・英語	8 6 0 1～	

8 後期日程

1 募集人員

1-1 教育学部

課程・講座		募集人員	課程・講座		募集人員	
学校教員養成課程	国語教育	5人	学校教員養成課程	英語教育	10人	
	数学教育	8人		学校	心理学コース	5人
	理科教育	16人		教育	教職基礎コース	4人
	音楽教育	4人		小計		67人
	保健体育	7人	特別支援学校教員養成課程		5人	
	技術教育	4人	計		72人	
	家政教育	4人				

(注) 理科教育講座には、次の専攻があります。

「物理学」、「化学」、「生物学」及び「地学」の4専攻

理科教育講座の合格者については、合格者発表時において、志願者の専攻の志望順位及び試験成績を考慮し、募集人員の1/4を目安に、各専攻に割り振ります。

1-2 地域科学部

学 科	募集人員
地域政策学科・地域文化学科	21人

(注) 入試は学科の区別をせず学部単位で行います。所属学科は2年次後学期に専門セミナーの選択を通じて決定します。

1-3 医学部

学 科	募集人員
医 学 科	35人
看 護 学 科	20人
計	55人

1-4 工学部

学 科・コース		募集人員	学 科・コース		募集人員
社会基盤 工学科	環境コース	14人	電気電子・情報 工学科	電気電子コース	35人
	防災コース	14人		情報コース	32人
機 械 工学科	機 械 コース	37人		応用物理コース	11人
	知能機械コース	23人	計		235人
化学・生命工学科	物質化学コース	39人			
	生命化学コース	30人			

1-5 応用生物科学部

課 程	募集人員
応 用 生 命 科 学 課 程	10人
生 産 環 境 科 学 課 程	10人
計	20人

2 2段階選抜の実施

医学部医学科の志願者数が募集人員の約15倍を超えた場合には、個別学力試験を適切に実施するため、大学入試センター試験の成績（後期日程試験で用いる科目・配点に同じ、満点400点）により第1段階選抜を行います。なお、第1段階選抜の結果は、平成30年2月7日（水）15時に岐阜大学ホームページ（<http://www.gifu-u.ac.jp>）でセンター試験受験番号により発表します。また、第1段階選抜の結果、不合格となった者には不合格通知を送付します（2月15日頃発送予定）。この場合、検定料の一部（13,000円）を返還します。検定料返還についても、不合格の結果と併せて通知します。

3 個別学力検査等の期日及び試験場

試験場は、全て岐阜大学〔岐阜市柳戸1番1〕です。

平成30年3月12日（月）

学部等		教科等及び時間		試験場
教育学部		国語	9:30～11:10	教育学部 全学共通教育講義棟
		数学	9:30～11:30	
		理科	13:00～15:00	
		外国語	16:10～17:40	
		実技検査	9:00～	
地域科学部		小論文	10:00～12:00	地域科学部
医学部	医学科	数学	9:30～11:30	全学共通教育講義棟
		理科	13:00～15:00	
		外国語	16:10～17:40	
	看護学科	小論文	10:30～11:30	医学部看護学科
面接		13:00～		
工学部		数学	9:30～11:30	工学部、応用生物科学部
		理科	13:00～15:00	
		外国語	16:10～17:40	
応用生物科学部 (応用生命科学課程, 生産環境科学課程)		理科	13:00～15:00	応用生物科学部

平成30年3月13日（火）

学部等	内容及び時間		試験場
医学部（医学科）	面接	9:00～12:00(予定)	医学部教育・福利棟

- (注) ① 試験場の下見は試験前日にできます。ただし、校舎内へは入れません。(→P.60～)
- ② 教育学部の試験は、講座等によって異なるので、注意してください。
- ③ 医学部医学科の面接については、集合時刻・場所等を前日の学力検査の際に、掲示により指示するので、必ず確認してください。
- ④ 試験場への集合時刻は、試験開始30分前です。
試験開始時刻に遅刻した場合は、試験開始後30分以内に限り、受験を認めます。
- ⑤ **大学入試センター試験受験票** と **岐阜大学受験票** の両方を必ず持参してください。
- ⑥ 試験終了時刻は上記のとおりですが、試験開始時刻の繰り下げ等、不測の事態発生の場合はこの限りではありません。帰路の予定を立てるにあたりお含みおきください。

4 出願手続

4-1 出願期間

平成30年1月22日(月)～1月31日(水) 17時必着

出願は郵送に限ります。

出願期間後に到着したものは受理しません。ただし、1月29日(月)以前(1/29を含む)の発信局(日本国内)消印のある簡易書留速達郵便に限り、期間後に到着した場合でも受理します。

4-2 出願方法等

出願書類の提出は郵送に限ります。

(1) この要項に添付してある本学所定の出願用封筒(後期日程用)を使用し、出願書類(→P.36)を入れ、郵便局の窓口で簡易書留速達として郵送してください。

なお、この際に郵便局の窓口で受け取った簡易書留速達の受領証は、出願したことの重要な証明書類となりますので、大切に保管しておいてください。

(2) 出願書類受付後は、記載内容の変更は認めません。また、一度受理した出願書類及び一旦領収した検定料は原則として返還しません。

4-3 受験票

(1) 受験票は、本学で作成のうえ平成30年2月15日(木)頃に郵送します。2月20日(火)を過ぎても届かない場合は、出願した学部(→P.59又は裏表紙)に確認してください。

(2) 受験番号は、受験票により通知します。

なお、受験票受領後、「8 受験番号(後期日程)」(→P.52)を参照して、必ず出願内容と相違ないか確認してください。

4-4 複数受験

(1) 前期日程の大学・学部(本学及び他大学)との併願は可能です。

また、本学の学部間、同一学部内の学科・課程・講座等間での併願も可能です。(前期日程と後期日程で志望学科・課程・講座等が同一であるか異なるかを問わず、どの学科・課程・講座等への併願も可能です。)

(2) 後期日程の大学・学部(本学及び他大学)との併願はできません。

(3) 前期日程試験に合格し、平成30年3月15日(木)までに入学手続を完了した者は、後期日程試験を受験しても合格者とはなりません。

(4) 他の国公立大学・学部の推薦入学合格者は、当該推薦入学を実施した大学・学部の定める推薦入学辞退手続によって入学辞退を許可された場合を除き、本学の個別学力検査等を受験しても合格者とはなりません。

4 - 5 出願書類等

	種 類	該 当 者
1	岐阜大学入学志願票（後期日程用）	全員
2	調査書	全員
3	入学検定料振込証明書（検定料 17,000 円を振込済のもの）	全員（入学志願票に貼付）
4	出願書類到着確認書	全員
5	楽譜・選択楽曲調書	教育学部音楽教育講座の志願者
6	運動歴調書	教育学部保健体育講座の志願者

〈注意事項〉

1. 岐阜大学入学志願票（後期日程用）

4 - 6「入学志願票」の記入に関する注意事項（→ P.38 ~ 43）を確認して、漏れなく記入してください。

2. 調査書

卒業見込みの者

在学する学校長が作成し、厳封してください。

既卒者

出身の学校長が作成し、厳封してください。平成 23 年度入学者選抜から様式が変更になっていますので注意してください。（様式が旧来の場合、現行の様式で作成した調査書を提出してください。）

高等学校卒業程度認定試験の全科目合格者（合格見込み者含む）

合格証明書と合格成績証明書（合格見込み者は、合格見込成績証明書）を提出してください。

高等学校卒業程度認定試験の合格者で免除科目がある者（合格見込み者含む）

合格証明書と合格成績証明書（合格見込み者は、合格見込成績証明書）に加え、学校長が発行した当該科目の成績証明書又は調査書を提出してください。

大学入学資格検定合格者

合格証明書と成績証明書を提出してください。

大学入学資格検定合格者で免除科目がある者

合格証明書と成績証明書に加え、学校長が発行した当該科目の成績証明書又は調査書を提出してください。

その他（以下の理由で調査書が提出できない者）

指導要録の保存期間の終了、廃校、被災、その他の理由によって出身学校の調査書が提出できない者

単位修得証明書等と卒業証明書の提出をもってこれに代えることができます。

さらに、単位修得証明書等も提出できない場合は、単位修得証明書等が発行できない旨の証明書と卒業証明書をもって代えることができます。この場合、厳封する必要はありません。

3. 入学検定料振込証明書

① 所定の「岐阜大学検定料振込依頼書」（後期日程用）に住所、氏名等必要事項を記入の上、金融機関窓口で検定料を振り込んでください。振込手数料は負担願います。

② 振り込んだ際に、金融機関が収納印を押した「振込証明書」と「受領書」を必ず受け取ってください。

③「振込証明書」は振込みの証明のため、入学志願票に貼り出願書類として提出してください。

④「受領書」は本学から「受験票」が届くまでは保管してください。

〈振込みにあたっての注意事項〉

○「電信扱い」が利用できる金融機関（銀行、信用金庫、農協、信用組合）で手続きしてください。

ゆうちょ銀行は利用できません。

○午後は「電信扱い」の取扱いができない金融機関があります。銀行等の取扱い期限日（振込依頼書に記載）には、振込手続を午前中に済まされるよう特に注意してください。

○一旦領収した検定料は原則として返還しませんので注意してください。

4. 出願書類到着確認書

志願者本人の受信住所、氏名を2か所に記入し、ミシン目を切らずにそのまま提出してください。

出願書類が到着し、整理が済み次第順次、出願書類到着確認書（はがき）を送付します。

5. 楽譜・選択楽曲調書

【楽譜】余白に志願者本人の氏名、作曲者名、曲名を記入してください。

なお、1曲が複数枚となる場合は左上をホッチキスで留めて提出してください。

【選択楽曲調書】所定の用紙（後期日程用）を使用し、欄外に記載されている記入上の注意事項を確認して、漏れなく記入してください。

6. 運動歴調書

所定の用紙（後期日程用）に記入の上、調査書に同封してください。

実技検査選択種目欄には、入学志願票の「保健体育講座実技」欄でレ点を記入した種目と同じ種目の番号を○で囲んでください。

競技歴は都道府県大会以上について記載し、記載する成績・記録等が無い場合は枠内に「記載事項なし」と記載してください。なお、その場合も記載責任者の記載および押印は必要です。

7. 出願用封筒

所定の封筒（後期日程用）に出願書類を入れて、郵便局の窓口で簡易書留速達として郵送してください。

封筒おもて面の志願学部記入欄には学部名を記入してください。ただし、医学部は医学科か看護学科と記入してください。学部別の記入欄には必ず該当項目を記入又は○で囲んでください。差出人欄にも忘れずに記入してください。

封筒うら面の出願書類チェック欄を使って封筒に入れる書類を確認してください。

出願書類一式が入っていた封筒は不要ですので使用しないでください。

HB または B の鉛筆で、濃く、はっきりと記入すること

〈入学志願票の記入例（工学部）〉

この欄には記入しないでください。

鉛筆で記入 平成30年度 岐阜大学入学志願票(後期日程用)

フリガナ	ヤナギ ド ア ロウ	生年月日	昭和・平成 11年 4月 2日
氏名	柳 戸 太郎	性別	男・女

1	志望学部	志望学科等			志望専攻等	受験教科・科目等	保健体育講座実技
	教育学部	第1志望	第2志望	第3志望	教育学部理科教育講座	教育学部	陸上競技
	地域科学部				物理学	医学部医学科	水泳
	医学部				化学	国語	器械運動
	工学部	2	環境防災		生物学	数学	柔道
	応用生物科学部				地学	剣道	
		0	0	0	第1志望	外国語	バレーボール
		1	1	1	第2志望	物基・物	バスケットボール
		2	2	2	第3志望	生基・生	ハンドボール
		3	3	3	第4志望	実技	サッカー
		4	4	4			ダンス
		5	5	5			
		6	6	6			
		7	7	7			
		8	8	8			
		9	9	9			

記入してください。
「HB又はBの鉛筆」
を濃く・明瞭に

第2解答科目には下段にもレ点を記入してください。

第2解答科目は
下段にもレ点を記入してください

レ点の記入
忘れに注意

大学入試センター試験受験教科・科目届 (受験したすべての科目にレ点を記入してください。)																												
国語	地理歴史	公民	数学①	数学②	理科①	理科②	英語	外国語	中国語	韓国語																		
国語	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	地理A	地理B	現代社会	倫理	政治経済	倫理・経済	数学I	数学II	簿記会計	情報関係	物理基礎	化学基礎	生物基礎	地学基礎	物理	化学	生物	地学	英語	ドイツ語	フランス語	中国語	韓国語	
レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ	レ

6 出願資格 岐阜 都道府県 国立 公立 私立 金華 高等学校 普通科 昭和 平成 30年 3月 卒業 卒業見込

その他の出願資格 (該当者は右のいずれかに 外国の学校等在外教育施設専修学校高等課程 文部科学大臣の指定した者 高卒認定試験・大検 高専3年修了・その他) をしてください。

7 送受付先住所等 〒500-0000 岐阜市〇〇町△△1丁目1番地 コ-ポ〇〇 107号室

8 連絡先 〒 (住所) 同上

電話番号 (058) 100-2000
携帯番号 080-3000-4000
その他 (氏名) 柳戸浩
連絡先 携帯番号: 090-5000-6000

9 写真貼付欄 (縦4cm×横3cm)

3ヶ月以内に撮影した上半身・無帽・正面向きのものを、本欄の形に切り、透明フィルムをはがして写真をしっかり貼り付けてください。

10 「後 平成30センター試験成績請求票 (国公立後期日程用)」をはがれないようにしっかり貼り付けてください。

12 岐阜大学の「入学検定料振込証明書」をはがれないようにしっかり貼り付けてください。

※センター試験受験番号を左の文字書体見本のとおりに記入

(例) 123456-7890Z-1

国語は必須科目ですので予め
レ点を記入してあります

試験場コード 受験番号 発行回数

4-6 「入学志願票」の記入に関する注意事項

必ず「HB 又は B の鉛筆」を使用して、濃く、はっきりと記入してください。訂正する場合は、消しゴムでしっかりと消してから記入してください。ボールペン等は使用しないでください。誤ってボールペン等で記入してしまった場合は、その上から鉛筆でなぞってください（氏名、住所、連絡先は鉛筆でなぞる必要はありません）。

左ページの記入例と以下の①～⑥をよく読んで記入してください。

※ 入学志願票は、必ず志願者本人が記入してください。

○志望学部 ①

志望する学部にレ点を記入してください。

○志望学科等 ②

学科等コード表（→ P.41）の中から、志望する学科等を選択・記入（略称の記載がある場合は略称を記入）し、志望する学科等のコードをレ点で記入してください。

志願票に記入した学科等名と学科等コードが異なっている場合は、学科等名を志望先と判断します。

- ・教育学部を志望する者は、**教育学部の出願に関する注意事項**（→ P.42）の（1）を参照してください。
- ・地域科学部を志望する者は、記入不要です。
- ・工学部を志望する者は、1つの学科へ出願することができます。出願する学科内のコースに志望順位をつけることができます。詳しくは、**工学部の出願に関する注意事項**（→ P.43）を参照してください。
- ・応用生物科学部については、他の課程を第2志望とすることができます。その場合は、第2志望の課程名を第2志望欄に記入してください。

なお、後期日程について、共同獣医学科は募集しません。

○志望専攻等（教育学部理科教育講座） ③

教育学部の出願に関する注意事項（→ P.42）の（2）を参照してください。

○受験教科・科目等（工学部志願者を除く。→ P.46～） ④

受験する教科・科目を選択し、レ点を記入してください。

医学部医学科の場合、理科3科目のうちから2つ選択し、レ点を記入してください。

教育学部の保健体育講座を志望する場合、実技種目を1つ選択し、レ点を記入してください。

○大学入試センター試験受験教科・科目届 ⑤

上段には受験した教科・科目全てにレ点を記入してください。地理歴史、公民、理科②の第2解答科目として受験した科目には、下段にもレ点を記入してください。また、外国語欄の記入漏れに注意してください。なお、国語は必須科目ですので予めレ点を記入してあります（国語を受験していない者は本学を志望できません）。

○出願資格 ⑥

記入例を参考に記入し、該当するところを○で囲んでください。

高等学校（中等教育学校及び特別支援学校の高等部を含む。）以外の出願資格の方は、該当するところを○で囲んでください。

○受験票等送付先住所 ⑦

ここに記入された住所に受験票を送付しますので、確実に届く住所を枠からはみ出さないように、丁寧に濃くはっきりと記入してください。（氏名と住所は筆跡のまま受験票発送の宛名として転写しますので、文字は濃く記入してください。）

○連絡先 ⑧

住所が、受験票等送付先住所と同じ場合には、「同上」と記入してください。


追加合格の通知（→P.63）のための連絡先にもなります。

願書に不備があった場合には、大学担当者から問い合わせることがありますので、確実に連絡が取れるようにしてください。

○写真 ⑨

願書提出日前3ヶ月以内に撮影した無帽、上半身、縦4cm×横3cmの写真の裏に志望学部、学科等及び氏名を記入してください。写真は貼り付け欄の透明フィルムをはがして、のり面にしっかり貼り付けてください（はがしたフィルムは捨ててください）。写真はこの1枚のみで、他に提出の必要はありません。

○平成30年度センター試験成績請求票 ⑩

「 平成30センター試験成績請求票（国公立後期日程用）」をはがれないようにしっかり指定場所に貼り付けてください。

○大学入試センター試験受験番号等 ⑪

入学志願票の指定場所に、大学入試センター試験受験票の試験場コード、受験番号、発行回数を、「文字書体見本」のと通りの字形で枠の中におさまるよう記入してください。

文字書体見本

0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	
A	B	C	H	K	M	R	U	X	Y	Z

・悪い例： 細い

（注意）○で囲んだ部分が不可です。文字書体見本の字形で書いてください。

○入学検定料振込証明書 ⑫

検定料を納付した際に受取った「入学検定料振込証明書」を入学志願票の指定場所にはがれないようにしっかりと貼り付けてください。他大学の振込証明書を間違えて貼り付けないよう注意してください。

学科等コード表

学 部	学 科 等		略称	学科等コード
教 育 学 部	学校教育教員養成課程	国語教育	国語	01
		数学教育	数学	06
		理科教育	理科	07
		音楽教育	音楽	11
		保健体育	体育	13
		技術教育	技術	14
		家政教育	家政	15
		英語教育	英語	16
		学校教育（心理学コース）	心理	26
		学校教育（教職基礎コース）	教職	27
		特別支援学校教員養成課程	特支	20
医 学 部	医学科			01
	看護学科			02
工 学 部	社会基盤工学科	環境コース	環境	01
		防災コース	防災	02
	機械工学科	機械コース	機械	03
		知能機械コース	知能	04
	化学・生命工学科	物質化学コース	物質	05
		生命化学コース	生命	06
	電気電子・情報工学科	電気電子コース	電気	07
		情報コース	情報	08
		応用物理コース	物理	09
応用生物科学部	応用生命科学課程		応用	01
	生産環境科学課程		生環	02

※ 略称の記載がある学科等は、入学志願票「志望学科等」欄に略称を記入してください。

教育学部の出願に関する注意事項

(1) 出願する課程・講座〈志願票の記入例 (P. 38) 志望学科等②〉

- ① 後期日程については、学校教育教員養成課程の実技系講座（音楽教育講座，保健体育講座）を除く8講座（ただし、学校教育講座は心理学コース，教職基礎コースをそれぞれ一つの講座として扱います。）から最大三つまで出願することができます。（一つ又は二つの講座だけを出願しても構いません。）
- ② 実技系講座（音楽教育講座，保健体育講座）を出願する場合，他講座との併願はできません。
- ③ 特別支援学校教員養成課程を出願する場合，他講座との併願はできません。

【注意：前期試験とは併願できる講座が異なります。】

○受験教科と併願可能講座等の組合せ

講座等名 教科	国語教育講座	数学教育講座	理科教育講座	技術教育講座	家政教育講座	英語教育講座	学校教育講座
国語	○	不可	不可	不可	○	不可	○
数学	不可	○	不可	○	○	不可	○
理科 物基・物 化基・化 生基・生	不可	不可	○	○	○	不可	不可
外国語	不可	不可	不可	不可	○	○	○

(2) 志望する「専攻」の記入〈志願票の記入例 (P. 38) 志望専攻等③〉

理科教育講座を出願する場合は，第1志望から第4志望までの「専攻」を必ず記入してください。

（第4志望まで記入しない場合には，不利益が生じる可能性があります。詳細は，教育学部学務係（→P.59又は裏表紙）までお問い合わせください。）

・理科教育講座の専攻：「物理学」，「化学」，「生物学」，「地学」

(3) 講座による受験教科の制約・志願票の記載方法〈志願票の記入例 (P. 38) 受験教科・科目等④〉

- ① 音楽教育講座，保健体育講座を出願する場合

実技検査を受験（他講座との併願はできません。）

【志願票】 受験教科・科目等欄の実技検査にレ点を記入してください。

保健体育講座を出願する者は，保健体育講座実技欄にある実技種目を1つ選択し，レ点を記入してください。

- ② 非実技系講座（音楽教育講座，保健体育講座以外の講座）を出願する場合

国語，数学，理科，外国語のうち，各講座が指定する1教科を選択し受験（選択した教科により最大3講座まで併願できます。ただし，特別支援学校教員養成課程は併願できません。）

【志願票】 受験教科・科目等欄の国語，数学，外国語，物基・物，化基・化，生基・生のうち，選択する1教科・科目にレ点を記入してください。

工学部の出願に関する注意事項

- ・1つの学科へ出願することができます。
- ・出願する学科内のコースに志望順位をつけることができます。社会基盤工学科，機械工学科，化学・生命工学科の3学科はそれぞれの学科内の2コースについて，第2志望まで順位をつけられます。電気電子・情報工学科は学科内の3コースについて，第3志望まで順位をつけられます。
- ・第1志望のコースだけの出願もできます。
- ・合格者の決定については，「一般入試合否判定基準」の工学部（→P.56）をご覧ください。

◎志望学科に対して出願できる志望コースの組合せ（表中の数字は学科等コード）

社会基盤工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
環境 01	防災 02	
環境 01		
防災 02	環境 01	
防災 02		

電気電子・情報工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
電気 07	情報 08	物理 09
電気 07	物理 09	情報 08
電気 07	情報 08	
電気 07	物理 09	
電気 07		
情報 08	物理 09	電気 07
情報 08	電気 07	物理 09
情報 08	物理 09	
情報 08	電気 07	
情報 08		
物理 09	電気 07	情報 08
物理 09	情報 08	電気 07
物理 09	電気 07	
物理 09	情報 08	
物理 09		

機械工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
機械 03	知能 04	
機械 03		
知能 04	機械 03	
知能 04		

化学・生命工学科 を志望する場合の組合せ

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
物質 05	生命 06	
物質 05		
生命 06	物質 05	
生命 06		

《参考》出願が認められない複数志望コースの組合せの一例

(例) 社会基盤工学科 を志望する場合

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
× 環境 01		防災 02
× 環境 01	防災 02	物理 09
× 防災 02	機械 03	
× 知能 04	防災 02	

注意点

- ←第3志望欄には記入できません。（社会，機械，化生の3学科共通）
- ←第3志望欄に他学科のコースは記入できません。
- ←第2志望欄でも他学科のコースは記入できません。
- ←第1志望欄でも他学科のコースは記入できません。

(例) 電気電子・情報工学科 を志望する場合

志望コース（略称）		
第1志望	第2志望	第3志望
× 電気 07		情報 08
× 電気 07	情報 08	知能 04
× 物理 09	物質 05	電気 07
× 知能 04	情報 08	

注意点

- ←第2志望欄を記入しないで第3志望欄に記入することはできません。
- ←第3志望欄に他学科のコースは記入できません。
- ←第2志望欄でも他学科のコースは記入できません。
- ←第1志望欄でも他学科のコースは記入できません。

5 大学入試センター試験の受験を要する教科・科目

学 部	受 験 を 要 す る 教 科 ・ 科 目												合 計				
	国 語		地 理 歴 史		公 民		数 学		理 科		外 国 語						
	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	外 国 語	英 語	日 本 語	中 国 語	韓 国 語	フ ラ ン ス 語	ド イ ツ 語					
等 部	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	△	○	○	○	○	○	○	◎	5～6 教科
教 育 学 部	1	理科が2の場合は1, 理科が1の場合は2	◎	◎	◎	◎	◎	1	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7～8 科目
地 域 政 策 学 科 地 域 文 化 学 科 (入試は学部 単位で実施)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5～6 教科
科 学 部	1	理科が2の場合は1, 理科が1の場合は2	◎	◎	◎	◎	◎	1	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7～8 科目
医 学 科	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5 教科
医 学 部	1	1	◎	◎	◎	◎	◎	1	1	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	7 科目
看 護 学 科	1	理科が2の場合は1, 理科が1の場合は2	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	5 教科 7 科目, 6 教科 7～8 科目

学部	受験を要する教科・科目										合							
	地理歴史		公民		数		理		外国語									
	世界史A	世界史B	日本史A	日本史B	現代社会	倫理・政治・経済	数学①	数学②	簿記・会計	情報関係基礎		理科①	理科②	英語	ドイツ語	フランス語	韓国語	
工学部	○	○	○	○	○	○	◎	○	△					○	○	○	○	5教科
	1		1			1	1	1	1	2	2	1	1	○	○	○	○	7科目
応用生命科学課程 生産環境科学課程	◎	○	○	○	○	○	◎	○	△					○	○	○	○	5教科
共同獣医学科	1		1			1	1	1	1	2	2	1	1	○	○	○	○	7科目
募集しない																		

(注) 1 ◎印は必須科目、○印は選択科目を表し、△印は指定された者のみ選択解答できる科目を表します。

2 「地理歴史、公民」、「理科②」において、指定科目数を1科目としている場合の2科目受験者の取り扱いについては、第1解答科目の得点を採用します。

(なお、第2解答科目の得点は一切採用しないので、学部・学科等が指定する科目を第2解答科目で受験した場合、出願無資格者となりますので御注意ください。)

3 教育学部、地域科学部、医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」、「理科②」をいずれも2科目ずつ計4科目受験した場合は、「地理歴史、公民」と「理科②」の各々の第1解答科目の得点と、第2解答科目のいずれか高得点を採用します。

4 教育学部、地域科学部の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の合計得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点と(2)で採用しなかった科目の得点のいずれか高得点

5 医学部看護学科の志願者で、「地理歴史、公民」から2科目、「理科①」から2科目及び「理科②」から1科目受験した場合は、以下の(1)～(3)の得点を採用します。(1)「地理歴史、公民」の第1解答科目の得点、(2)「理科①」の2科目の得点と「理科②」の1科目の得点のいずれか高得点、(3)「地理歴史、公民」の第2解答科目の得点「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

6 「地理歴史、公民」から2科目を受験する場合は、「地理歴史、公民」から1科目、「公民」から1科目の科目を選択となります。

7 「簿記・会計」及び「情報関係基礎」を選択できる者は、高等学校及び特別支援学校の高等部を含む。においてこれらの科目を履修した者及び専修学校の高等課程の修了(見込み)者に限ります。「情報関係基礎」においては、職業教育を主とする農業、工業、商業、水産、家庭、看護、情報及び福祉の8教科に設定されている情報に関する科目を履修した者)

8 「外国語」のうち、「英語」は、「筆記試験」と「リスニングテスト」の双方を課します。筆記試験を受験し、リスニングテストを受験しなかった場合は、リスニングテストの得点は0点となります。ただし、リスニングテストが免除となる受験上の配慮決定者については、筆記試験の得点を「英語」として各学部が定める配点に換算されます。

6 個別学力検査等の実施教科・科目等

6-1 教科・科目表

学部	学科・課程・講座・コース	教科・科目等	摘要	
教育学部	学校教員養成課程	国語教育	「国語」	出題範囲 国語総合 数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B, 数Ⅲ) ・数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲: 全範囲(ただし, 数Ⅰは「データの分析」を除く。) ・数Aの範囲: 「場合の数と確率」, 「図形の性質」(「整数の性質」に関しては, 小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。) ・数Bの範囲: 「数列」, 「ベクトル」 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ) 理科 ・物基・物の範囲: 物理基礎, 物理の全範囲 ・化基・化の範囲: 化学基礎, 化学の全範囲 ・生基・生の範囲: 生物基礎, 生物の全範囲 音楽実技検査 ・音楽能力に関する検査 体育実技検査 ・運動能力に関する検査
		数学教育	「数学」	
		理科教育	理科「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から1つを選択	
		音楽教育	「音楽実技検査」	
		保健体育	「体育実技検査」	
		技術教育	「数学」及び「理科」(「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から1つを選択)のうちから1つを選択	
		家政教育	「国語」, 「数学」, 「外国語」及び「理科」(「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から1つを選択)のうちから1つを選択	
		英語教育	「外国語」	
学校教育	「国語」, 「数学」及び「外国語」から1つを選択			
	特別支援学校教員養成課程			
地域	科学部	小論文		
医学部	医学科	数学 必須 外国語 必須 理科「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から2つを選択 面接 必須	出題範囲 数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B, 数Ⅲ) ・数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲: 全範囲(ただし, 数Ⅰは「データの分析」を除く。) ・数Aの範囲: 「場合の数と確率」, 「図形の性質」(「整数の性質」に関しては, 小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。) ・数Bの範囲: 「数列」, 「ベクトル」 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, コミュニケーション英語Ⅲ, 英語表現Ⅰ) 理科 ・物基・物の範囲: 物理基礎, 物理の全範囲 ・化基・化の範囲: 化学基礎, 化学の全範囲 ・生基・生の範囲: 生物基礎, 生物の全範囲	
		看護学科	小論文, 面接	
工学部	社会基盤工学科 環境コース 防災コース 機械工学科 機械コース 知能機械コース 電気電子・情報工学科 電気電子コース 情報コース 応用物理コース	数学 必須 理科「物基・物」必須 外国語 必須	出題範囲 数学(数Ⅰ, 数A, 数Ⅱ, 数B, 数Ⅲ) ・数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲの範囲: 全範囲(ただし, 数Ⅰは「データの分析」を除く。) ・数Aの範囲: 「場合の数と確率」, 「図形の性質」(「整数の性質」に関しては, 小学校の算数と中学校の数学で学んだ知識を前提として問うこともある。) ・数Bの範囲: 「数列」, 「ベクトル」 理科 ・物基・物の範囲: 物理基礎, 物理の全範囲 ・化基・化の範囲: 化学基礎, 化学の全範囲 外国語(コミュニケーション英語Ⅰ, コミュニケーション英語Ⅱ, 英語表現Ⅰ)	
	化学・生命工学科 物質化学コース 生命化学コース	数学 必須 理科「化基・化」必須 外国語 必須		
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	理科「物基・物」, 「化基・化」, 「生基・生」から1つを選択	出題範囲 理科 ・物基・物の範囲: 物理基礎, 物理の全範囲 ・化基・化の範囲: 化学基礎, 化学の全範囲 ・生基・生の範囲: 生物基礎, 生物の全範囲	

6-2 実技検査（教育学部）

(1) 音楽実技検査

教育学部音楽教育講座を出願する者は、音楽実技検査を受験しなければなりません。

次の2種目の実技検査を行います。

種目	内 容	注 意 事 項	楽譜コピー (○:要, ×:不要)
1	ピアノ弾き歌い 現行『小学校学習指導要領』が指定する歌唱共通教材から1曲を選び演奏する。	① 楽譜は見てもよい。 ② 伴奏形は自由である。	×
2	下記の(1), (2), (3)のいずれかを選択する。		
	(1) ピアノ演奏 自由曲：任意のピアノ曲から1曲を選び演奏する。	① 反復は省略すること。 ② 暗譜演奏すること。	○
	(2) 管楽器・弦楽器及びピアノ演奏 A 任意の管楽器又は弦楽器のための独奏曲（練習曲を含む）を演奏する。	A ① 検査当日は無伴奏とする。 ② 楽譜は見てもよい。 ③ 反復は省略すること。 ④ 楽曲の途中から演奏させることもある。 ⑤ 楽器は各自持参すること。	○
	B ピアノ演奏 自由曲：任意のピアノ曲から1曲を選び演奏する。	B 上記(1)ピアノ演奏の注意事項に同じ。	○
	(3) 声楽及びピアノ演奏 A 下記の歌曲の中から1曲を選び演奏する。 イタリア歌曲 G.B.Pergolesi : Nina (e-moll) ドイツ歌曲 R.Schumann : Die Lotosblume (F-dur, Es-dur) 日本歌曲 團 伊玖磨 : ひぐらし (f-moll, d-moll)	A ① 伴奏者は本学で用意する。 ② 暗譜演奏すること。 ③ 楽曲の途中から演奏させることもある。	×
	B ピアノ演奏 自由曲：任意のピアノ曲から1曲を選び演奏する。	B 上記(1)ピアノ演奏の注意事項に同じ。	○

共通注意事項

<提出物> 以下2点を他の出願書類と一緒に提出してください。

- (a) 選択楽曲調査（募集要項に封入）—— i) 楽曲名, ii) 調名, iii) 作曲者名（原語で作曲者名を併記）, iv) 楽譜の出版社名等を記入。
- (b) 「2 (1) ピアノ演奏」および「2 (2) 管・弦楽器及びピアノ演奏」を選択した場合は、その楽譜のコピー—— 受験者名、作曲者名、曲名を記入。1曲が複数枚となる場合は、左上をホッチキスで留めて提出。

<口頭試問> 演奏終了後、実技試験に関連した口頭試問を行うことがあります。

(2) 体育実技検査

教育学部保健体育講座を出願する者は、体育実技検査を受験しなければなりません。

次の2種目の実技検査を行いますので、事前に医師の健康診断（健康診断書の提出は不要）を受けておいてください。

A 運動の基礎的能力検査

B 運動の専門的能力検査（陸上競技、水泳、器械運動、柔道、剣道、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、サッカー及びダンスのうちから1種目を選択します。）

(注) 実技のできる服装及び体育館シューズ、グラウンドシューズを持参してください（受付後、更衣室において着替える時間を設けています）。

なお、このほかBの実技検査に使用する用具は、各自が持参しても構いません。

6-3 小論文**(1) 地域科学部**

テーマの的確な把握、論理的な思考力等をみるために行います。特定の教科の学力を問うものではありません。

(2) 医学部看護学科

与えられた課題に対する理解力、論理的思考力及び文章表現力等を総合的にみるために行います。特定の教科の学力を検査するものではありません。

6-4 面接**(1) 医学部医学科**

面接は、総合判定の資料（配点なし）とし、医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は、総合点にかかわらず不合格とします。

(2) 医学部看護学科

看護への適性をみるために行います。

【各学部・学科等の入試における特色】**教育学部**

〔前期日程・後期日程〕

卒業後に教師として必要となる幅広い基礎的学力を問うべく、センター試験を課します。個別学力検査では、前期日程において英語、数学、国語から2教科（音楽教育講座及び保健体育講座は関連する実技と1教科、美術教育講座は関連する実技に加え面接と1教科）、後期日程においては英語、数学、国語、理科（物理・化学・生物）から1教科（実技系は関連する実技）の試験を課し、教育学部で学ぶのに必要な論理的思考力（実技系は実技能力）を問います。

地域科学部

〔後期日程〕

地域科学部で学ぶのに必要な基礎学力を判定するため、大学入試センター試験を課しています。

個別学力検査では、小論文試験を課しています。小論文試験では、読解力や論理的思考力・表現力、関心の広さ、着眼点などを評価します。

高校で履修しているどの授業も大切にし、幅広く学んでおくこと、さらに、豊富な読書体験を積んでおくことを勧めます。

医学部医学科

〔前期日程・後期日程〕

大学入試センター試験で幅広い基礎学力を問い、個別学力検査（数学・理科（2科目）・外国語（英語））を課すことによって、理数系の能力と応用力、英語力を問い、論理的思考と問題解決能力に秀でた学生を選抜します。

また、医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性をみるために面接を行います。

医学部看護学科

〔後期日程〕

人を愛し生命を尊び、全ての人々の健康の向上に寄与する看護職になるために必要な総合的基礎学力さ

らに目的意識，社会への関心，表現力を評価するために大学入試センター試験と個別学力検査として小論文，面接を実施します。

工学部

〔前期日程・後期日程〕

大学入試センター試験では国語，地歴・公民，数学，理科，外国語の5教科を課し，受験する者がこれまでに身につけた基礎学力の評価を行います。

個別学力検査では，工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科（物理又は化学）並びに工学技術者として必須である英語を課し，大学入試センター試験と個別学力検査の合計点により合格者を決定します。

基礎学力に加えて理解力・応用発展能力がどれだけあるかを評価するため個別試験に重きを置き，大学入試センター試験と個別学力検査の配点比率は，前期日程を500：1000，後期日程を500：1500とします。

工学部は4学科9コースで構成され，出願時には志望学科にあるコースに限りコースに志望順位をつけて出願できます。

応用生物科学部

〔後期日程〕

応用生命科学課程及び生産環境科学課程で実施しています。

全般的に学力の高い学生を選抜する入試ですので，幅広く学習してきた者を対象とし，特に理科についての関心・学力を備えた者を求めています。

大学入試センター試験と個別学力検査により評価します。個別学力検査では理科1科目を課し，応用生物科学の基礎となる理科に関する学力を判定します。

7 配 点

8

後期日程(配点)

学部・課程・講座			教科・科目等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	実技	合計	備考
教育学部	学校教育 教員養成 課程	国語教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別	400						400		
		数学教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別				400				400	
		理科教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別					400			400	
		音楽教育 保健体育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別等							400	400	
		技術教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別				(400)	(400)			400	
		家政教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別	(400)			(400)	(400)	(400)		400	
		英語教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別						400		400	
		学校教育	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別	(400)			(400)		(400)		400	
		特別支援学校教員養成課程	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100		450	※1
			個別	(400)			(400)		(400)		400	

学部・学科・課程・コース		教科・科目等	国語	地歴	公民	数学	理科	外国語	小論文	面接	合計	備考															
地域科学部		DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100			450	※1															
		個別等							300		300																
医学部	医学科	DNC	50	50		100	100	100			400	数学2科目 理科2科目															
		個別				400	400	400		※2	1200	理科は、物基・物、化基・化、生基・生のうちから2つ(各200点)															
	看護学科	DNC	100	$\frac{100}{50}$		100	$\frac{50}{100}$	100			450	※1															
		個別等							200	100	300																
工学部	社会基盤工学科	環境コース	DNC	200	100	200	200	200			500	数学2科目 理科2科目															
		防災コース																									
	機械工学科	機械コース											合計900点に9分の5を掛けて500点に換算する。														
		知能機械コース																									
	化学・生命工学科	物質化学コース																個別				600	600	300		1500	
		生命化学コース																									
電気電子・情報工学科	電気電子コース																										
	情報コース																										
	応用物理コース																										
応用生物科学部	応用生命科学課程 生産環境科学課程	DNC	200	100		200	200	250			950	数学2科目 理科2科目															
		個別					400				400	理科は、物基・物、化基・化、生基・生のうちから1つ															

- (注) ① 配点の()は、選択を表します。
- ② 表中、DNCとは、大学入試センター試験を表します。
- ③ 「地歴」とは、「地理歴史」を表します。
- ④ ※1 DNCにおいて、「地歴、公民」が2科目(1科目)の場合は、理科が1科目(2科目)となります。また、数学は2科目です。
- ⑤ ※2 面接は、総合判定の資料(配点なし)とし、医学科のアドミッション・ポリシーに適合しないと判定した場合は、総合点にかかわらず不合格とします。
- ⑥ DNCの「外国語」における「英語」は、筆記試験(200点満点)とリスニングテスト(50点満点)の合計得点を各学部が定める配点に換算します。また、地域科学部、工学部及び応用生物科学部については、「英語」以外の外国語は筆記試験(200点満点)の得点を各学部が定める配点に換算します。

8 受験番号（後期日程）

学部	学科等	受験番号	備考	
教育学部	「国語」	5001～		
	「数学」	6001～		
	「英語」	7001～		
	「理科」	8001～	「物理」選択者	
		8301～	「化学」選択者	
		8601～	「生物」選択者	
	音楽実技検査	9001～	音楽教育講座志願者	
体育実技検査	9501～	保健体育講座志願者		
地域科学部		7001～		
医学部	医学科	1001～	「物理」・「化学」選択者	
		0001～	「物理」・「生物」選択者	
		4001～	「化学」・「生物」選択者	
	看護学科	9001～		
工学部	社会基盤工学科	環境コース	1501～	第1志望コースで受験番号を割り振ります。
		防災コース	2501～	
	機械工学科	機械コース	3501～	
		知能機械コース	4501～	
	化学・生命工学科	物質化学コース	5501～	
		生命化学コース	6501～	
	電気電子・情報工学科	電気電子コース	7501～	
		情報コース	8501～	
		応用物理コース	9501～	
応用生物科学部 (応用生命科学課程) (生産環境科学課程)	「理科」	5001～	「化学」選択者	
		6001～	「生物」選択者	
		7001～	「物理」選択者	

8

後期日程(受験番号)

9 合格者発表

9-1 発表日時

試験区分	発表日時
前期日程	平成30年3月6日(火) 12時
後期日程	平成30年3月21日(水祝) 10時

9-2 発表方法及び場所

学部等	場所及び方法	
教育学部	各学部(医学部は医学科及び看護学科)の玄関に、合格者の受験番号を掲示します。	
地域科学部		
医学部		医学科
看護学科		
工学部		
応用生物科学部		

電話での結果の問合せには一切応じません。

9-3 合格通知書及び入学手続案内の交付方法

合格者には合格通知書及び入学手続案内を郵送します。

9-4 合格者受験番号のホームページへの掲載

岐阜大学ホームページ(<http://www.gifu-u.ac.jp/>)に合格者の受験番号を掲載します。

掲載期間は、合格者発表日から1週間です。

これは、情報提供サービスの一環として行うものですので、必ず合格通知書又は学内の掲示により確認してください。なお、合格者発表直後はサーバーへのアクセスが集中し、接続に時間がかかることが予想されますので、予めご了承ください。

(注) 試験当日は、バス停周辺などで、受験者からお金を受け取って合否電報の受付をする者がいます。彼らの行為は本学とは何ら関係ありません。彼らは合否電報を打たず申込金を着服する恐れもあります。大学としても充分注意していますが、受験者の皆さんも注意してください。

9-5 個人情報の取り扱い

提出された志願票等に記載された氏名、性別、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、入試情報処理システムに登録されますが、本学は、志願票等及び登録された個人情報(大学入試センターを經由して登録された個人情報〔試験成績等〕を含みます。)を責任をもって管理・保管します。入学試験業務終了後は、この個人情報を次のいずれかに該当する場合を除いて利用することはなく、また、第三者に開示することはありません。なお、第三者とは、本学入試業務担当者のうち個人情報に接する必要がある者以外の者です。

- (1) 合格者について、入学手続きに必要なデータを使用する場合(大学入試センター及び併願先の国公立大学への通知〔氏名及び大学入試センター試験の番号〕を含みます。)
- (2) 入学者について、学生証の作成、カリキュラム登録、成績管理等、本人が大学生活をする上で必要な事務にデータを使用する場合
- (3) 入学者選抜に係る統計・調査・分析のために使用する場合。ただし、この統計・調査・分析に従事する者は特定の者とし、公表する場合、個人識別ができない状態で行います。
- (4) 本人の同意が得られた場合
- (5) 法令等により開示を求められた場合

10 入学手続（概要）

合格者には『入学手続案内』をお送りしますので、ご確認ください。入学手続書類の提出は、原則、郵送とし、持参も可とします。持参の場合は、下記の期日に入学手続を行います。

なお、下記の期日までに入学手続を完了しなかった者は、本学へ入学する意思がなく、入学を辞退したものとみなします。

10-1 持参による入学手続期日

試験区分	入学手続期日
前期日程	平成30年3月15日（木）
後期日程	平成30年3月27日（火）

10-2 入学料

- ・入学手続時に要する経費

入学料： 282,000円

- ・入学手続時には、入学料の他、学生教育研究災害傷害保険料等が必要となります。詳細については、入学手続案内をご確認ください。
- ・入学料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用されます。

10-3 授業料

- ・授業料

授業料（前期分）： 267,900円（年額535,800円）

- ・前期分の授業料は5月に口座振替にて納入してください。
- ・詳細については、合格者あてに別途通知します。
- ・授業料は予定額であり、改定が行われた場合には改定時から新たな金額が適用されます。

10-4 提出書類等

詳細は、『入学手続案内』に記載します。

なお、入学手続には『大学入試センター試験受験票』が必要です。同受験票は入学手続完了の証明印を押印し、お返しします。

10-5 注意事項

一つの国公立大学に入学手続した者は、他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

本学の入学手続を完了した者は、入学辞退を願い出て、これが許可された場合を除き、他の国公立大学・学部への入学許可は得られません。

10-6 応用生物科学部共同獣医学科の合格者の方へ（その他必要な経費）

岐阜大学・鳥取大学共同獣医学科の教育課程において、岐阜大学と鳥取大学間での学生移動による実習・演習が行われます。

この実習・演習に伴い、交通費・宿泊費など6年間で10万円程度の経費が必要になります。

10-7 入学式について

平成30年度入学式は、平成30年4月7日（土）です。

11 入試情報の開示

平成 30 年度入学試験に係る入試情報の開示については、次のように行います。

11-1 試験問題の大問の配点

一般入試についてのみ、大問の配点を試験問題に掲載します。(満点に対する大問の配点の比率を表示します。)

11-2 合否判定基準

一般入試(前期日程及び後期日程)の合否判定基準は、次の表のとおりです。

平成 30 年度一般入試合否判定基準

区 分		前期日程	後期日程
教育学部	判定基準	<ul style="list-style-type: none"> 総得点の上位者から志望順に合格者を決定する。 個別学力検査における選択科目間の得点の調整は、原則として行わないが、国語、数学及び英語の3教科のうち平均点の最高点と最低点の間に10点以上の点差が生じた場合には平均点の低い教科の得点を調整する。ただし、数学(イ)、数学(ロ)間の調整は行わない。 大学入試センター試験(配点換算後)の1教科の得点が20点未満(理科①は、1教科5点未満。理科②、地理歴史又は公民は1教科10点未満)の者は、合格対象としない。 個別学力検査の1教科の得点(調整がある場合は調整後の得点)が10点未満の者は、合格対象としない。 実技試験を課す講座においては、実技試験の得点が70点未満の者は、合格対象としない。ただし、美術教育講座においては、実技と面接の合計点が70点未満の者は、合格対象としない。 	<ul style="list-style-type: none"> 総得点の上位者から志望順に合格者を決定する。 個別学力検査における選択科目間の得点の調整を行う。 大学入試センター試験又は個別学力検査のどちらかの得点が140点未満の者は、合格対象としない。
	同点者の扱い	<ul style="list-style-type: none"> 合格順位の最下位に同点者がある場合は、同点者全員を合格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 合格順位の最下位に同点者がある場合は、同点者全員を合格とする。
地域学部	判定基準	<ul style="list-style-type: none"> 総得点の高得点順に合格者を決定する。 個別学力検査における選択科目(数学と外国語)間の得点の調整を行う。 個別学力検査(数学又は外国語)及び小論文試験の選抜項目を1つでも受験しなかった者は、合格対象としない。 大学入試センター試験及び個別学力検査(数学又は外国語)の教科の得点及び小論文の得点に0点がある者は、合格対象としない。 	<ul style="list-style-type: none"> 総得点の高得点順に合格者を決定する。 小論文試験を受験しなかった者は、合格対象としない。 大学入試センター試験の教科の得点及び小論文の得点に0点がある者は、合格対象としない。
	同点者の扱い	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験の合計と個別学力検査の教科(数学又は外国語)の得点を加算した点数 個別学力検査の教科(数学又は外国語)の得点 大学入試センター試験の数学と外国語の合計点 	<ol style="list-style-type: none"> 大学入試センター試験の合計点 大学入試センター試験の数学と外国語の合計点
医学部	判定基準	<ol style="list-style-type: none"> 医学科 <ul style="list-style-type: none"> 総得点の高得点順に合格者を決定する。 面接の評価によっては、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査の成績にかかわらず不合格とすることがある。 看護学科 <ul style="list-style-type: none"> 総得点の高得点順に合格者を決定する。 個別学力検査における選択科目(国語と数学)間の得点調整を行う。 大学入試センター試験及び個別学力検査の科目の得点に0点がある者は、合格対象としない。 	<ol style="list-style-type: none"> 医学科 <ul style="list-style-type: none"> 総得点の高得点順に合格者を決定する。 面接の評価によっては、大学入試センター試験の成績及び個別学力検査の成績にかかわらず不合格とすることがある。 看護学科 <ul style="list-style-type: none"> 総得点の高得点順に合格者を決定する。 大学入試センター試験の科目の得点に0点がある者は、合格対象としない。 小論文の得点が0点又は面接の得点が30%未満の者は、合格対象としない。

区分		前期日程	後期日程
医学部	同点者の扱い	a) 医学科 1) 個別学力検査の合計点 2) 個別学力検査の理科及び数学の合計点 3) 個別学力検査の数学の得点 4) 大学入試センター試験の理科及び数学の合計点 5) 大学入試センター試験の数学の得点 b) 看護学科 1) 大学入試センター試験の合計点 2) 個別学力検査の外国語の得点	a) 医学科 1) 個別学力検査の合計点 2) 個別学力検査の理科及び数学の合計点 3) 個別学力検査の数学の得点 4) 大学入試センター試験の理科及び数学の合計点 5) 大学入試センター試験の数学の得点 b) 看護学科 1) 大学入試センター試験の合計点 2) 小論文の得点
工学部	判定基準	<ul style="list-style-type: none"> ・学科毎に総得点の上位者から志望順に合格者を決定する。 ・個別学力検査における教科（数学，理科，外国語）の得点に0点がある者は，合格対象としない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学科毎に総得点の上位者から志望順に合格者を決定する。 ・個別学力検査における教科（数学，理科，外国語）の得点に0点がある者は，合格対象としない。
	同点者の扱い	<ul style="list-style-type: none"> ・合格順位の最下位に同点者がある場合は，同点者全員を合格とする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・合格順位の最下位に同点者がある場合は，同点者全員を合格とする。
応用生物科学部	判定基準	<ul style="list-style-type: none"> ・総得点の上位者から志望順に合格者を決定する。 ・個別学力検査における選択科目（理科 [物，化，生]）間の得点の調整は行わない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・総得点の上位者から志望順に合格者を決定する。 ・個別学力検査における選択科目（理科 [物，化，生]）間の得点の調整は行わない。
	同点者の扱い	1) 大学入試センター試験の合計点 2) 個別学力検査の理科の得点	1) 大学入試センター試験の合計点

- (注) 1 表中の総得点とは合否判定に使用する得点であり，配点（→P.30～・P.50～）に基づく大学入試センター試験の合計と個別学力検査等の合計を加算した点数です。
- 2 大学入試センター試験の得点については，特に表示した場合を除き，配点に換算した得点とします。
- 3 同点者の扱いについては，項目順に得点の多いものを上位とします。

11-3 採点・評価基準のポイント（要点）

前期日程試験

国	語	本学における修学上必要とされる基礎知識及び読解力・論理的な思考力・表現力などの諸能力を総合的に評価判定します。
数	学	数学的知識や数学的能力（理解力，思考力，計算力，記述力など）が備わっているかを評価します。
物	理	物理学的知識や物理学的能力（理解力，思考力，計算力，記述力など）が備わっているかを評価します。
化	学	基礎知識，理解力，論理的思考能力，応用力などの総合力をみます。
生	物	基礎知識，理解力，論理的思考能力，文章による的確な表現力などの総合的な能力を判定します。
英	語	語い・文法力，読解力，表現力などをみるために，様々な角度から出題し，総合的英語力を判定します。
教育学部 実技試験	音楽	音楽に関する基礎的知識と表現能力を総合的に評価します。
	美術	美術教育を学ぶ上で必要とされる資質として，基本的な描写力，構想力，取組の姿勢について，総合的に判定します。
	保健体育	基礎的運動能力，スポーツ技能習熟度及び競技歴を総合して評価します。
医学部（医学科） 面接		医学部医学科アドミッション・ポリシーに従い，医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性をみます。
地域科学部	小論文	自然・社会・人間に関する関心と基礎的理解力，論理的な思考力や構成力，文書表現力等を総合的に評価します。

後期日程試験

教育学部	学力検査	国語	本学部での修学に必要な基礎知識・読解力・論理的思考力・文章表現力などを総合的に評価します。	
		数学	基礎知識、理解力、応用力、計算能力、論理的思考力、正確な表現力などの総合的な能力をみます。	
		理科	物理	物理学に関する基礎知識と能力（理解力、思考力、計算力、記述力など）が備わっているかを評価します。
			化学	基礎知識、理解力、論理的思考力、記述力などの総合的な能力を判定します。
			生物	基礎知識、理解力、論理的思考力、記述力などの総合的な能力を判定します。
	英語	本学部で学ぶのに適した英語力を測定します。特に、語い・文法力、読解力、表現力などバランスの取れた英語力を重視します。		
	実技検査	音楽	音楽に関する基礎的知識と表現能力を総合的に評価します。	
		保健体育	基礎的運動能力、スポーツ技能習熟度及び競技歴を総合して評価します。	
地域科学部	小論文	自然・社会・人間に関する関心と基礎的理解力、論理的な思考力や構成力、文書表現力等を総合的に評価します。		
医学部（医学科）	数学	医師として必要とされる、高度の知的能力、的確な状況判断能力、迅速に業務をこなす能力を、高等学校で学ぶ数学を通じて、評価します。		
	理科	物理	物理学的な基本知識と物理学的能力（理解力、思考力、計算力、記述力など）が備わっているかを評価します。	
		化学	基礎知識、理解力、論理的思考能力、応用力などの総合的な能力を評価します。	
		生物	基礎知識、理解力、論理的思考能力などの総合的な能力を判定します。	
	英語	入学後に必要とされる英文の読解能力や要約能力を評価するために、長文読解問題を中心として出題しますが、文章構成・整序問題による表現能力の有無も合わせて、総合的に評価します。		
面接	医学部医学科アドミッション・ポリシーに従い、医療人・医学研究者となるにふさわしい資質・適性をみます。			
医学部（看護学科）	小論文	与えられた課題に対する理解力、論理的思考力及び文章表現力等を総合的に評価します。		
	面接	面接態度、積極性、理解力、表現力、協調性、教養等を評価し、医療人としての適性及び能力をみます。		
工学部	数学	基礎知識、理解力、応用力、計算能力、論理的思考力、正確な表現力などの総合的な能力をみます。		
	理科	物理	物理学的知識や物理学的能力（理解力、思考力、計算力、記述力など）が備わっているかを評価します。	
		化学	基礎知識、理解力、論理的思考能力、応用力などの総合力をみます。	
	英語	語い、文法力、読解力、表現力などをみるために、様々な角度から出題し、総合的英語力を判定します。		
応用生物科学部	理科	物理	物理学的知識や物理学的能力（理解力、思考力、計算力、記述力など）が備わっているかを評価します。	
		化学	基礎知識、理解力、論理的思考能力、応用力などの総合力をみます。	
		生物	基礎知識、理解力、論理的思考能力、文章による的確な表現力などの総合的な能力を判定します。	

11 - 4 個人成績の開示内容及び請求時期等

開示内容

項目	内容
1 試験成績（個人）	<p>一般入試 本人の得点（合否判定に使用した総得点・大学入試センター合計得点・個別学力検査等合計得点及び科目別得点）を開示する。ただし、小論文及び面接の得点は除く。</p> <p>また、合格者は、合格した学科（課程）等の得点、不合格者は第1志望の学科（課程）等の得点を開示する。なお、医学部医学科の2段階選抜における第1段階選抜の成績開示については、第1段階選抜の不合格者に対してのみ、大学入試センター試験の合計得点を開示する。</p>
2 調査書	「学習の記録」等の客観的事実に係る記録部分のみを開示し、「指導上参考となる諸事項」等、主観的評価に基づく記述部分は開示しません。

・開示の請求方法

請求できる者 受験者本人に限ります。

請求方法 請求先（入試課）の窓口を持込むか郵送してください。

請求期間 平成30年5月1日（火）～5月31日（木）（郵送の場合は5月31日の消印有効）
 窓口受付は、土曜・日曜及び祝日を除く9時から17時まで（請求用紙の配付も5月1日以降とします。）

請求先 〒501 - 1193 岐阜市柳戸1番1
 岐阜大学学務部入試課

必要書類 ・岐阜大学入試情報開示請求書*

・平成30年度岐阜大学受験票（コピー不可。開示の際にお返しします。）

・返信用封筒（開示通知書送付用）

長形3号封筒（縦23.5cm×横12.0cm）に、本人の郵便番号、住所、氏名を明記の上、402円分の切手（簡易書留料金）を貼付してください。

*開示請求書用紙の入手方法

次のいずれかの方法で入手できます（請求期間中のみ入手可）。

①岐阜大学のホームページ（<http://www.gifu-u.ac.jp>）からプリントアウトする。

②入試課の窓口で受け取る。（9時から17時まで）

③郵便で請求する。

返信用封筒（長形3号の封筒（縦23.5cm×横12.0cm）に82円切手貼付）を「請求先」あてに送ってください。

開示方法 本人に開示決定通知書を郵送します。

請求受付後、開示までに約1か月を要しますので、あらかじめご了承ください。

11 - 5 合格者の最高点、最低点及び平均点の開示

開示時期及び方法

平成30年6月頃、岐阜大学ホームページ（<http://www.gifu-u.ac.jp>）に掲載します。

開示の概要

一般入試（前期日程試験及び後期日程試験）について開示し、特別入試は開示しません。

開示内容

総合点、大学入試センター試験の成績（合計点）と個別学力検査等の成績（合計点）を分けて開示します。最低点の開示については、総合点のみとします。

なお、学科・課程・コースごとの合格者が4人以下の場合は公表しません。また、合格者が10人以下の場合は、最低点を公表しません。

12 その他

受験に関する照会先

※ 問い合わせは、原則として志願者本人からするようにしてください。

〔平日：9：00～17：00
 なお、土、日曜日、祝日及び年末年始（12/29～1/3）は業務を行いません。〕

志望学部等	担当係	電話番号（直通）	所在地
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156, 2157, 2180	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
教育学部	教育学部学務係	058-293-2206, 2359	
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3009, 3025	
工学部	工学部学務係	058-293-2371, 2372	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-3409, 2838	
医学部医学科	医学部医学科学務係	058-230-6075, 6078	〒501-1194
医学部看護学科	医学部看護学科学務係	058-293-3217, 3218	岐阜市柳戸1番1

インターネットによる出願状況の情報サービス

平成30年1月26日（金）から岐阜大学ホームページ（<http://www.gifu-u.ac.jp/>）で情報提供します。

検定料返還に関する留意事項

(1) 次の場合を除き、一旦領収した検定料は原則として返還しません。

- a 出願書類が受理されなかった場合
- b 検定料を誤って二重に振り込んだ場合
- c 検定料を振り込んだが、出願書類を提出しなかった場合
- d 出願受付後に大学入試センター試験受験科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（この場合は、13,000円を返還します。）
- e 第1段階選抜の結果、不合格となった場合（この場合は、13,000円を返還します。）

(2) 返還請求の方法

〈(1)のa～dの場合〉

次の①～⑥を明記した検定料返還請求書を任意様式で作成し、金融機関の収納印がある「岐阜大学検定料振込金（兼手数料）受領書」を添付して、岐阜大学学務部入試課（〒501-1193 岐阜市柳戸1番1）まで郵送してください。（封筒には「検定料返還請求書 在中」と朱書きしてください。）

なお、返還請求は平成30年2月1日（木）から2月28日（水）までをお願いします。

- ① 返還請求の理由
- ② 志願者氏名（フリガナ）、押印
- ③ 現住所
- ④ 連絡先電話番号
- ⑤ 志望学部・学科名等
- ⑥ 検定料の返還を受け取る銀行名、支店名、預貯金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）

〈(1)のeの場合〉

不合格の通知にあわせて送付する案内に従って手続きをしてください。

※ 振込みには、請求書類到着後1ヶ月程度を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

12

その他

平成 28 年熊本地震により被災した入学志願者の検定料免除について

岐阜大学では、平成 28 年熊本地震により被災した入学志願者に対して、検定料免除の特別措置を行います。詳細は岐阜大学ホームページ (<https://www.gifu-u.ac.jp>) を参照してください。

該当者は予め所定の期日までに所定の書類を提出してください。入学志願票の「入学検定料振込証明書」貼付欄には、熊本地震の被災者である旨を鉛筆で記入し、「入学検定料」を払い込まないよう注意してください。

試験場への案内

公共交通機関

試験場名	バスのりば		「路線名」及び行先	降車するバス停	備考
	JR 岐阜駅	名鉄岐阜			
教育学部 地域科学部 医学部（医学科） 工学部 応用生物科学部	JR 岐阜駅バスターミナル⑨番	名鉄岐阜駅前 ⑤番	「岐阜大学・病院線」 岐阜大学病院行き (西野町経由)	岐阜大学	教育学部及び医学科の試験場は全学共通教育講義棟等です。
医学部（医学科） (2/26(月), 3/13(火))		-----	-----	柳戸橋 (「岐阜大学」の次)	医学部医学科の面接試験の試験場は医学部教育・福利棟です。
医学部（看護学科）		名鉄岐阜駅前 ④番	「岐南町線」 岐阜大学病院行き (長良北町経由)		

(備考)

1. バスの所要時間は、JR 岐阜駅から岐阜大学まで約 45 分、岐阜大学から柳戸橋まで約 2 分です。但し、市内の交通事情により大幅に上回ることがあるので注意してください。
2. 2月25日(日)、3月12日(月)は、「岐阜大学・病院線」のバス路線に、定期便〔2/25学休運転日(休日ダイヤ)、3/12学休運転日(平日ダイヤ)〕の他に臨時便が運行される予定です。

詳細は、試験日の5日ほど前から岐阜大学ホームページ (<http://www.gifu-u.ac.jp/>) に掲載する「受験上の留意事項等」の中でお知らせします。

※ 連節バス「清流ライナー」はJR 岐阜駅バスターミナル出発で、名鉄岐阜駅前は止まりませんので注意してください。

- ・名古屋駅から岐阜駅まで、JR（新快速）で 19 分
- ・JR 岐阜駅、名鉄岐阜駅からバスで約 45 分（約 7 km）

受験の際の宿泊について

本学の受験に際し宿泊を必要とする者は、各自で宿泊施設の手配をお願いします。

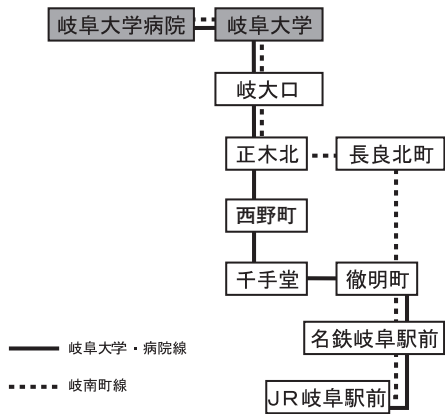
〈遠方から受験される方へ〉

季節柄、また不慮の災害等により交通障害が起こる可能性があります。そのような理由で試験場に到着できないという事態を極力避けるため、宿泊についても各自で検討をお願いします。

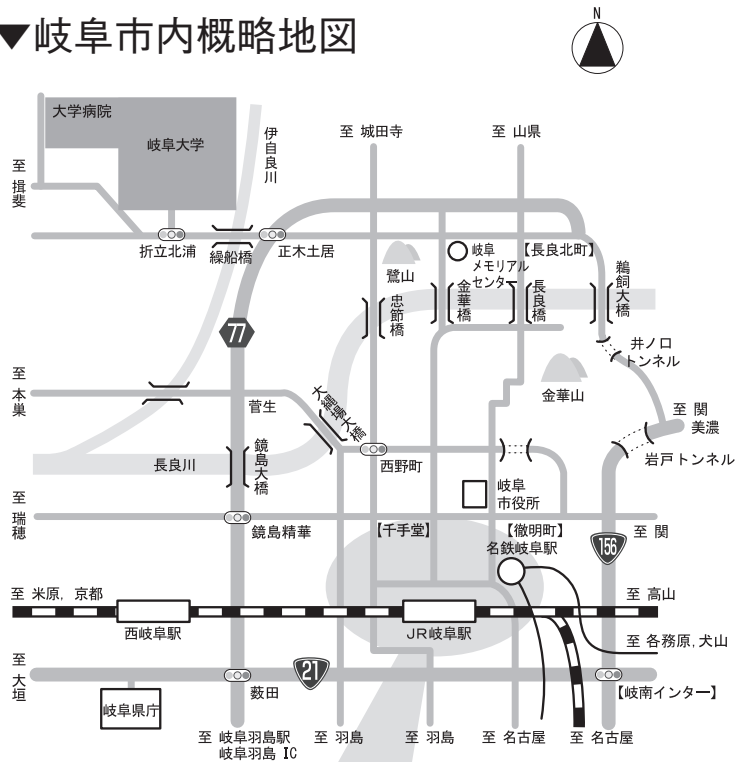
公共交通機関利用のお願い

2月25日、3月12日の両日は、保護者等が受験者を送迎する自家用車等により、岐阜大学周辺の道路で交通渋滞が発生します。構内の駐車可能台数には限りがありますので、公共交通機関（路線バス）を利用し、自家用車等での来学は極力控えてください。

▼バス路線図(略図)



▼岐阜市内概略地図

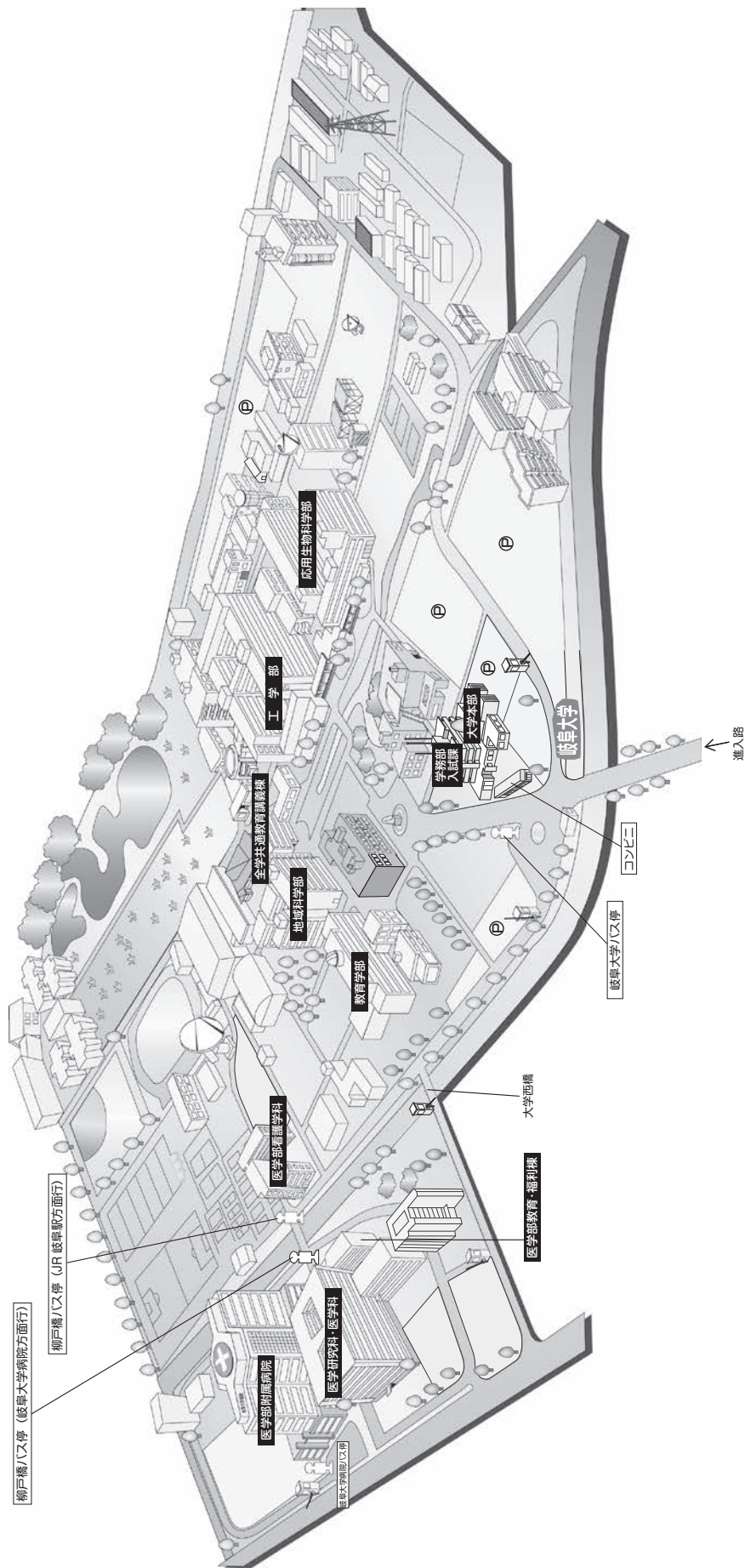


12
その他

▼JR岐阜駅前・名鉄岐阜駅前周辺バスのりば



岐阜大学建物配置図



※ 駐車可能台数に限りがありますので、2月25日、3月12日の両日は公共交通機関（路線バス・臨時便あり）を利用し、自家用車等の利用は極力控えてください。
※ やむを得ない理由等により自家用車等で来学される場合でも、大学進入路等の道路に路上駐車しないでください。公共交通機関等の走行の妨げになります。

受験者等控え室について

試験当日（2月25日、3月12日のみ）は、学内に控え室（受験者専用、受験者・保護者等用）を設けます。利用開始は7時30分からとし、場所については構内の掲示等によりお知らせします。

受験される方へ（留意事項）のHP掲載について

試験当日（2月25日、3月12日のみ）における受験上の留意事項等のお知らせを、2月20日頃までに岐阜大学ホームページ（<http://www.gifu-u.ac.jp/>）に掲載します。予告なく更新することがありますので、受験前は特に注意してください。

13 追加合格

追加合格を行うか否かについては、岐阜大学のホームページでお知らせします。

追加合格の通知

当初合格者で入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、追加合格を行うことがあります。

追加合格者に対しては、平成30年3月28日（水）から3月30日（金）までの間に、当該学部から入学志願票に記載してある電話番号に通知します。

やむを得ず本人が不在になる場合は、本人に連絡できる者が待機してください。

※ 他の国公立大学の合格者で入学手続きを完了した者は、本学の追加合格者とはなりません。

追加合格者の入学手続

追加合格者の入学手続は、平成30年3月30日（金）までに行ってください。

期日までに入学手続を完了しなかった者は、本学への入学の意思がなく、入学を辞退したものとみなします。

14 欠員補充第2次募集

追加合格を行っても、なお入学手続を完了した者が入学定員に満たない場合は、欠員補充第2次募集を行います。

この場合の出願資格、募集人員、入試方法等の細目は、平成30年4月2日頃「平成30年度岐阜大学欠員補充第2次学生募集要項」で発表します。

欠員補充第2次募集を行うか否かについては、岐阜大学のホームページでお知らせします。

13

追加合格

14

欠員補充第2次募集

〈問い合わせ先一覧〉 ※質問等は，原則として志願者本人がお問い合わせください。

志望学部等	担当係	電話番号(直通)	所在地
入試の全般的なこと	学務部入試課	058-293-2156, 2157, 2180	〒501-1193 岐阜市柳戸1番1
教育学部	教育学部学務係	058-293-2206, 2359	
地域科学部	地域科学部学務係	058-293-3009, 3025	
工学部	工学部学務係	058-293-2371, 2372	
応用生物科学部	応用生物科学部学務係	058-293-3409, 2838	
医学部医学科	医学部医学科学務係	058-230-6075, 6078	〒501-1194 岐阜市柳戸1番1
医学部看護学科	医学部看護学科学務係	058-293-3217, 3218	

月曜日～金曜日（年末年始・祝日等を除く。）9：00 から 17：00 まで
岐阜大学ホームページ <http://www.gifu-u.ac.jp/>

試験当日（2月25日，3月12日のみ）における受験上の留意事項等のお知らせを，2月20日頃までに岐阜大学ホームページに掲載します。予告なく更新することがありますので，受験前は特に注意してください。